

保健管理センター業務報告書

(平成30年度版)

筑波大学保健管理センター

目 次

1. 保健管理センター沿革	1
2. 国立大学法人筑波大学保健管理センター細則	3
3. 保健管理センター運営委員会	10
4. 保健管理センターの組織図及び職員	12
5. 対応業務等	14
6. 入学志願者健康診断書審査及び精密健康診断	16
7. 学生健康診断	17
1) 定期健康診断	17
i) 受診状況	17
a) 学群生	17
b) 大学院生	18
c) 研究生	18
ii) 健康診断再検査者	19
2) 学生特殊健康診断	20
i) 電離放射線健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）	20
ii) 有機溶剤健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）	20
3) 特定化学物質健康診断	20
i) 学群生及び大学院生（研究生含む）	20
8. 職員健康診断	21
1) 一般健康診断	21
i) 受診者数及び受診率	21
ii) 項目別有所見者数及び率とその内訳	22
iii) 労働安全衛生規則13条第1項第2号の業務（特定業務）の従事者	23
iv) 胃造影検査	23
2) 特殊健康診断	24
i) 電離放射線健康診断	24
ii) 有機溶剤健康診断	24
iii) 特定化学物質健康診断	24
3) 特定健康診査（メタボリックシンドローム健康診断）	25
4) その他	26
i) 便潜血反応検査	26
ii) 喀痰細胞診検査	26
iii) 眼底検査	26
iv) P S A検査	26

9. 保健管理センター利用状況	27
1) 健康相談月別利用状況	27
i) 学生内科受診数	27
ii) 学生整形外科受診数	28
iii) 学生外科処置受診数	29
iv) 学生歯科受診数	30
v) 職員・その他	31
2) 学生相談利用状況	32
i) 学生相談内訳	32
ii) 学生相談室利用者の年次推移	34
iii) 総合相談窓口内訳	35
3) 精神衛生相談利用状況	38
i) 精神衛生相談内訳	38
ii) 学生の診断別件数	39
iii) 精神衛生相談利用者の年次推移（延数と実数）	40
10. その他	41
1) 予防接種者数	41
i) B型肝炎ワクチン接種	41
ii) インフルエンザワクチン接種	41
2) HBs抗原抗体検査	41
3) 臨床検査実施数	42
4) エックス線写真撮影件数及び枚数	43
5) 処方箋発行数	44
6) 外部診療機関紹介状況	45
7) 健康診断証明書等発行数	45
8) 救護活動	46
9) 救急箱貸出数	47
11. 学内広報・研修活動	48
1) 広報活動	48
2) 研修活動	49
12. 研究業績	53

1. 保健管理センター沿革

昭和48年10月の筑波大学の開学にあわせて、保健管理センターが設置された。昭和49年4月に専任の職員が発令となり、オリンピック記念青少年総合センターにおいて開かれた新入学生オリエンテーション以降、臨床医学系教員ほか関係各位の協力を得て救護活動を開始した。

昭和49年6月3日に筑波地区での講義開始に合せ、体育合宿所の一部で本格的業務を開始し、昭和50年7月に専用の建物が現在地に竣工し、移転した。

なお、昭和49年9月から、文部省（現文部科学省）共済組合筑波大学支部診療所が当センターに併設され、以後その業務についてもセンター職員が兼務している。

昭和53年3月31日の東京教育大学の閉学、筑波大学への移管に伴い、東京教育大学で健康管理業務を担ってきた健康相談所も閉鎖され、本学東京地区職員の健康管理業務は当センターが行うことになった。

昭和54年10月から、一の矢学生宿舎に夜間医務室を設け、医師が宿泊し夜間の救急に備えた。

開学当初は学生相談の対応とともに内科、精神科、整形外科及び歯科を開設し、昭和50年に眼科（現在は廃止）、また昭和57年には婦人科（同）が開設され、さらに昭和63年には運動選手を主たる対象とするスポーツ・クリニックも始められた。

平成元年に創立15周年を迎え、記念誌「健康への歩み」を発行した。

平成3年7月に、本学が当番大学となり第29回全国大学保健管理研究集会関東甲信越地方部会研究集会を大学会館国際会議室において開催した。

平成3年末に、附属病院の救急部の新設や近隣病院の開設等の医療体制の整備に伴い、一の矢学生宿舎の夜間医務室を廃止した。また、プロジェクトとしてのスポーツ・クリニックが終了し、平成4年度からはスポーツ外来部門を当センターの業務、トレーニング・クリニック部門を体育センターの業務とするスポーツ・クリニックがスタートした。

平成6年には、創立20周年を迎え、記念誌「学生相談室20周年誌」を発行した。

平成9年12月に、センター事務室等の改修工事が行われ、事務部門及び看護部門を一体化し、サービスセンターとしての機能の向上を図った。

平成10年4月から、健康診断実施業務の充実と省力化を図るため外部業者に業務委託を行うとともに、関連業務の効率化を図るための電算化を開始した。

平成11年には、健康診断業務の電算化をさらに推進し、受診者の健康管理や健康診断証明書発行業務等での一層の効率化を図った。また、創立25周年を迎え、記念誌を発行した。

平成14年10月の図書館情報大学との統合に伴い同大学体育・保健センターの保健部門との組織及び業務の統合が行われた。

平成16年4月の国立大学法人化に伴い、当センターも労働安全衛生法に基づく労働安全衛生業務を担当することになり、センター職員も産業医や衛生管理者として専門的業務に対応することになった。

平成19年7月に、本学が当番大学となり第45回全国大学保健管理研究集会関東甲信越地方部会研究集会を大学会館講堂において開催した。

平成20年1月に、学生健康診断証明書の証明書自動発行機からの発行が開始となり、学生の利便性が図られた。

平成23年3月に、学生相談のWEBサイトのリニューアルを行い、モバイルサイトを構築した。

平成24年2月に、学生相談窓口を春日エリアにも開設した。

平成24年3月に、保健管理センターホームページのリニューアルを行った。

平成25年10月1日から、耐震改修工事のため、文部科学省共済組合筑波大学支部診療所を休診とし、当センターのみ11月11日に、クラブハウスに仮移転して診療業務を開始した。なお、文部科学省共済組合筑波大学支部診療所は、耐震改修後の併設が困難なことから、平成26年1月31日に廃止した。

平成26年6月24日に、当センターの耐震改修工事が完了したため、仮移転先のクラブハウスから移転した。

平成27年10月から、本学附属病院主催の「診療の安全に関する研修」（年2回開催）を当センターにてDVD研修として実施した。

平成28年6月に設置された保健管理センターのあり方検討会を経て、11月に保健管理センター改革準備委員会が設置され、センター改革に関する具体的な検討を行った。

平成29年4月の保健管理センター改革準備委員会の改革提言（診療の有償化、健診・救護に関わる業務の効率化、学生相談・メンタルヘルス対策充実に関わる体制・環境の見直し及び管理・運営体制の見直し）が学内諸会議を経て第180回役員会（平成29年6月22日）で報告され、9月にタスクフォースを設置し、具体的な施策の検討を行った。また、入試教護の集約化等については、関係組織と協議し一部実施した。

平成30年10月25日開催の第196回役員会において、タスクフォースで検討された保健管理センターの改革について（中間報告）（診療料金等の有償化の実施、後発医薬品の積極採用、健康診断における法定外の項目を中心とする検査項目の見直し、実績を踏まえた救護業務の見直し、学生相談・メンタルヘルス対策に関し新たな相談組織の設置、学生相互のサポート機能の強化、アウトリーチ体制の整備、学外医療機関との連携強化、管理運営体制では副所長及び部門の設置、等具体的な施策）報告された。

平成31年1月から診療料金等の有償化を開始した。また、学生相談体制を強化するため、新たな学生相談組織の設置に向けて保健管理センター細則の改正を行った。さらに、前述以外に保健管理センターの改革提言の実現可能なものから順次実施した。

2. 国立大学法人筑波大学保健管理センター細則

〔平成 16 年 4 月 1 日〕
〔保健管理センター部局細則第 1 号〕

改正 平成 26 年保健管理センター部局細則第 1 号
平成 30 年保健管理センター部局細則第 1 号
平成 30 年保健管理センター部局細則第 2 号
平成 31 年保健管理センター部局細則第 1 号

保健管理センター細則

（趣 旨）

第 1 条 この部局細則は、国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則（平成 16 年法人規則第 1 号。以下「基本規則」という。）第 51 条第 5 項の規定に基づき、保健管理センター（以下「センター」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（目 的）

第 2 条 センターは、国立大学法人筑波大学（以下「本学」という）における保健管理に関する専門的な業務を行い、もって本学の学生及び職員の心身の健康の維持及び増進を図ることを目的とする。

（業 務）

第 3 条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 学生及び職員等の健康管理等についての企画及び立案に関すること。
- (2) 学生及び職員等の定期及び臨時の健康診断の実施並びに保健指導に関すること。
- (3) 学生及び職員等の急病等に対し応急診療及び救急処置を行うこと。
- (4) 学生及び職員等の健康相談に応じること。
- (5) 学生のメンタルヘルスに関する相談、診療及び企画を行うこと。
- (6) 環境衛生及び伝染病の予防に関し教育指導を行うこと。
- (7) 心身の健康障害の予防及び保健管理の充実向上のための専門的調査研究を行うこと。
- (8) その他健康管理等に関する専門的業務を行うこと。

2 センターは、前項各号の業務のうち職員に係るものについては、基本規則第 35 条第 1 項及び国立大学法人筑波大学職員の安全衛生管理規則（平成 16 年法人規則第 29 号）第 10 条に規定する特別な組織として設置される環境安全管理室と連携して、これを行うものとする。

（診療料金等）

第 4 条 前条第 1 項第 3 号及び第 5 号に規定する診療及び処置に関する業務において、診察費、

薬剤費，検査費，処置費，書類作成費等（以下「診療料金等」という。）を徴収する。

- 2 前項に規定する診療料金等の額及び徴収方法は，別表のとおりとする。
- 3 第1項に規定する診療料金等の領収証書，領収済報告書及び原符の様式は，それぞれ別記様式第1号から第3号までのとおりとする。

（副所長）

第5条 センターに，副所長を置く。

- 2 副所長は，センターの長（以下「所長」という。）が，センターの業務に従事する大学教員のうちから指名する。
- 3 副所長は，所長の職務を補佐する。
- 4 副所長の任期は，2年とする。ただし，任期の終期は，副所長となる日の属する年度の翌年度の末日とする。

（部 門）

第6条 センターに，次の表の左欄に掲げる部門を置き，同表右欄の業務を担当する。

名 称	担当業務
フィジカルヘルス部門	身体に関する業務
メンタルヘルス部門	メンタルヘルスに関する業務

- 2 前項に規定する部門にリーダーを置き，所長が指名する。
- 3 リーダーは，第1項に掲げる業務を統括する。
- 4 リーダーの任期は，2年とする。ただし，任期の終期は，リーダーとなる日の属する年度の翌年度の末日とする。

（運営委員会）

第7条 センターに，基本規則第53条第1項に規定する運営委員会として，センター運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

- 2 委員会は，センターの管理運営に関する基本的な事項を審議する。
- 3 委員会は，次に掲げる委員で組織する。
 - (1) 所長
 - (2) 副所長
 - (3) センターの業務に従事する大学教員 2人
 - (4) 人間系長の推薦に基づき所長が委嘱する大学教員 2人
 - (5) 医学医療系長の推薦に基づき所長が委嘱する大学教員 3人
 - (6) その他センターの維持運営に係る大学教員 4人
 - (7) 学生部長

第8条 前条第3項第3号から第6号までの委員の任期は、2年とする。ただし、任期の終期は、委員となる日の属する年度の翌年度の末日とする。

2 補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 前2項の委員は、再任されることができる。

第9条 委員会に委員長を置き、第7条第3項第1号の委員をもって充てる。

2 委員長は、委員会を主宰する。

3 委員長に事故があるときは、第7条第3項第2号の委員がその職務を代行する。

第10条 委員会は、過半数の委員が出席しなければ、議事を開き、議決することができない。

2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(センター会議)

第11条 センターに、センター業務の円滑な運営を図るため、センター会議を置く。

2 センター会議に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この部局細則は、平成16年4月1日から施行する。

2 この部局細則施行前に運営委員会の委員である者であって、この部局細則施行後も当該委員として任期が引き続くものについては、この部局細則により運営委員会の委員となるものとみなす。ただし、その任期は、第5条第1項本文の規定にかかわらず、この部局細則施行の日から平成17年3月31日までとする。

附 則

この部局細則は、平成26年12月16日から施行し、改正後の国立大学法人筑波大学保健管理センター細則の規定は、平成25年4月1日から適用する。

附 則

この部局細則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この部局細則は、平成31年1月1日から施行する。

附 則

この部局細則は、平成31年4月1日から施行する。

別表（第4条関係）

1 診療料金等の額

単位：円

項 目		内科	整形外科	歯科	精神科
(1)	診察費	500	500	500	1,000
(2)	薬剤費	300	300	300	1,000
(3)	検査費				
	(a) レントゲン	500	500	500	500
	(b) 心理検査				1,000
	(c) 心理検査（簡易）				500
	(d) その他の検査	500	500	500	500
(4)	処置費				
	(a) 医師処置	500	500	500	500
	(b) 歯科衛生士処置			500	
(5)	書類作成費等				
	(a) 紹介状	1,000	1,000	1,000	1,000
	(b) 診断書（センターの診療に基づくもの）	1,000	1,000	1,000	1,000
	(c) 特殊診断書	2,000	2,000	2,000	2,000
	(d) レントゲンコピー	500	500	500	500
	(e) 検査結果コピー	500	500	500	500
	(f) その他	1,000	1,000	1,000	1,000

2 診療料金等の徴収方法

(1) 定期健康診断の呼出し診療

定期健康診断の呼出しによる診療及び再検査は、無料とする。ただし、当日に薬剤処方が必要な場合は、薬剤費を徴収する。

(2) 1診療科を受診する場合

レントゲン及び心理検査以外の検査は、複数行われた場合であっても、検査費は500円とする。

(3) 複数の診療科を受診する場合

診察費、薬剤費、検査費及び処置費は、それぞれの診療科の診療料金等の額の合計額とする。

(4) その他

(ア) 学生及び職員の定期健康診断に基づく健康診断証明書の作成は無料とする。

(イ) 来所証明書及びSPEC指示書の作成は無料とする。

(ウ) 看護師健康相談及び処置のない歯科衛生士健康相談は無料とする。

(エ) 松葉杖等装具貸出しは無料とする。

(オ) 学生の保護者、又は指導教員等に対する相談は無料とする。

(カ) 特殊診断書には、センターの診療に基づく定型の診断書以外のすべての診断書を含む。

領 収 証 書		No	
殿		(摘要)	
領 収 金 額		千	百
		十	万
		千	百
		十	円
上記金額領収いたしました。 年 月 日 国立大学法人筑波大学 出納役		領 収 日 付 印	
合計金額		円	

円
 円
 円

(大きさ A4)

領 収 済 報 告 書					No					
殿					(摘要)					
領 収 金 額			千	百	十	万	千	百	十	円
上記金額領収いたしました。 年 月 日 国立大学法人筑波大学 出納役								領 収 日 付 印		
合計金額								円		

円

円

円

円

(大きさ A4)

別記様式第 3 号（第 4 条関係）

原 符		No	
殿		(摘要)	
領 収 金 額		千	百
		十	万
		千	百
		十	円
上記金額領収いたしました。 年 月 日 国立大学法人筑波大学 出納役		領 収 日 付 印	

円
 円
 円

合計金額
円

(大きさ A4)

3. 保健管理センター運営委員会

1) 運営委員名簿

平成30年4月1日現在

氏 名	職 名	所 属	任 期	備 考
(センター所長)				
◎坂 本 透	准教授	医 学 医 療 系	－	
(センター副所長)				
太刀川 弘 和	准教授	医 学 医 療 系	－	
(センターの業務に従事する大学教員)				
杉 江 征	教 授	人 間 系	30. 4. 1 ～ 32. 3.31	
久 賀 圭 祐	教 授	医 学 医 療 系	30. 4. 1 ～ 32. 3.31	
(人間総合科学研究科の業務に従事する大学教員)				
吉 田 武 男	教 授	人 間 系	29. 4. 1 ～ 31. 3.31	
沢 宮 容 子	教 授	人 間 系	29. 4. 1 ～ 31. 3.31	
檜 澤 伸 之	教 授	医 学 医 療 系	29. 4. 1 ～ 31. 3.31	
家 田 真 樹	教 授	医 学 医 療 系	30. 4. 1 ～ 31. 3.31	
川 上 康	教 授	医 学 医 療 系	29. 4. 1 ～ 31. 3.31	
(その他センターの維持運営に関係する大学教員)				
中 村 修	教 授	環 境 安 全 管 理 室	30. 4. 1 ～ 32. 3.31	環境安全管理室長
加 賀 信 弘	教 授	人 文 社 会 系	30. 4. 1 ～ 32. 3.31	学生生活支援室長
山 田 幸 雄	教 授	体 育 系	30. 4. 1 ～ 32. 3.31	体育センター長
新 井 哲 明	教 授	医 学 医 療 系	30. 4. 1 ～ 32. 3.31	附属病院 精神神経科グループ長
(本部部長であって学生生活に関する業務に従事する職員)				
生 井 栄	部 長	学 生 部	－	

◎は委員長を表わす。

2) 運営委員会議事

平成30年度の運営委員会は3回開催し、通常議題のほか、保健管理センター細則の一部改正及び保健管理センター改革の中間報告について審議を行った。

第1回 平成30年9月10日開催

- 議題等
- ・平成30年度保健管理センター年度計画について
 - ・保健管理センター改革の中間報告について
 - ・教員人事について

第2回 平成30年12月6日～12日メール審議開催

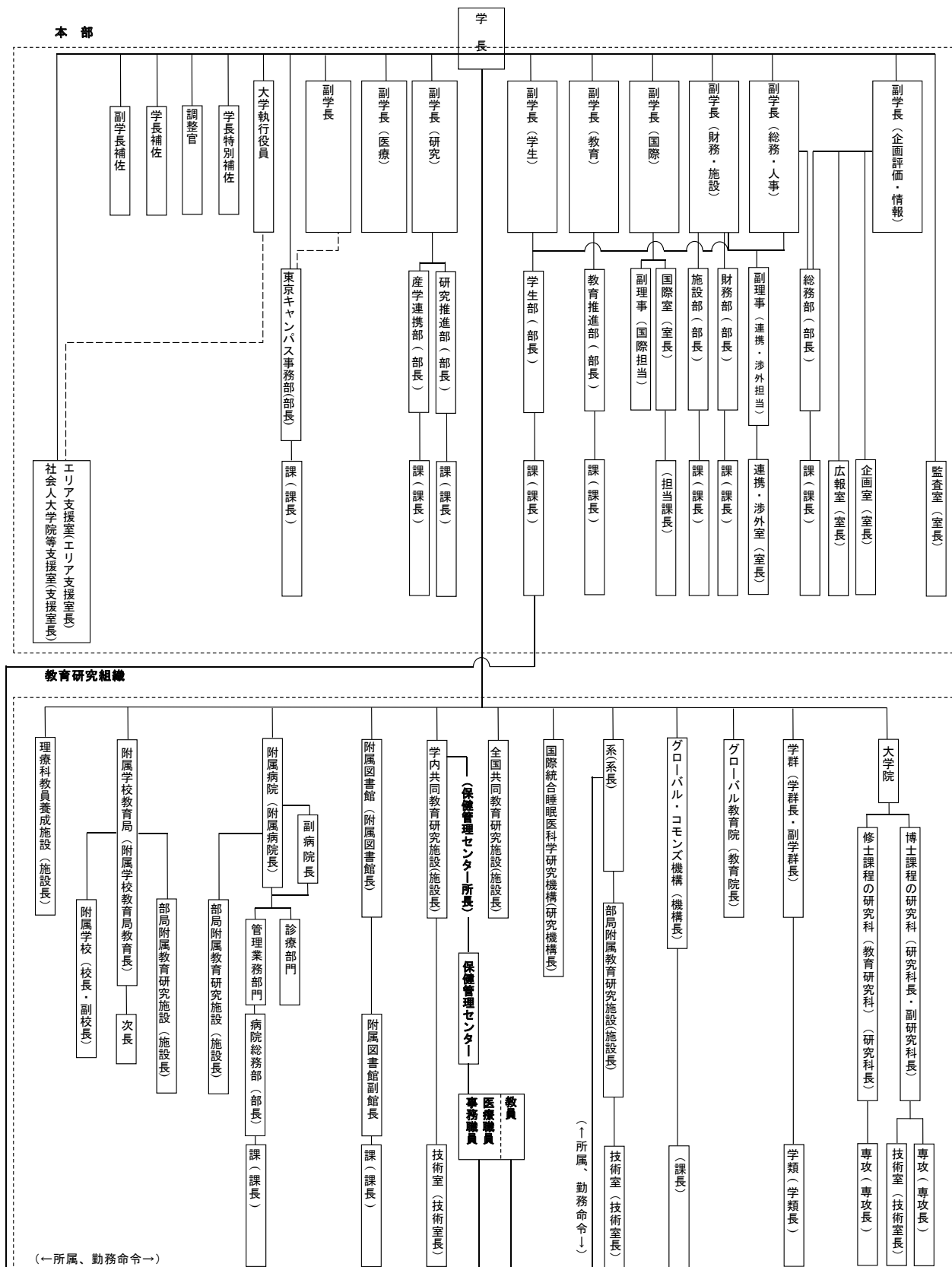
- 議題等
- ・保健管理センター細則の一部改正について
(保健管理センターの診療料金等の有償化)

第3回 平成31年1月24日～31日メール審議開催

- 議題等
- ・保健管理センター細則の一部改正について
(学生相談体制の強化を図るための業務分離)

4. 保健管理センターの組織図及び職員

1) 組織図



2) 職 員

所 長 内 科：坂本 透 准教授

教 員 内 科：久賀 圭祐 教授＊，長谷川 直之 講師＊

整形外科：船山 徹 講師

精 神 科：太刀川 弘和 准教授，白鳥 裕貴 講師，石井 映美 助教

心 理：杉江 征 教授，田附 あえか 助教，田中 崇恵 助教，慶野遥香 助教

医 療 職 員 岡本 祐子 看護師，寺門 恵美子 看護師，大川 明日香 看護師，

山崎 泰代 看護師，上等 美貴 保健師（8/1 ～）

谷田有妙枝 薬剤師

福島 幸子 歯科衛生士

片岡 裕司 診療放射線技師

事 務 職 員 鈴木文子 係長，古山陽一 専門職員（シニアスタッフ）

非 常 勤 医 師 榎本 真美（内科），齋藤 洋子（内科），野口 佳子（内科），望月 美恵（内科），

埜口 博司（整形外科），宮本 芳明（整形外科），武田 さき子（歯科），

竹田 弘美（歯科），佐々木 恵美（精神科）

非常勤職員等 渡邊 明子 薬剤師，澤井 朱美 臨床検査技師（～ 5/31），

押田 夏海 臨床検査技師（5/8 ～），稲葉 由美子 臨床検査技師（6/1 ～）

飯田 亜紀 臨床心理士，吉原 啓 臨床心理士，河合 由貴子 臨床心理士，

杉村 舞 臨床心理士，後藤 美和子 臨床心理士，遠田 諭 臨床心理士，

竹田 祐子 臨床心理士，山口 佳子 臨床心理士，宣 聖美 臨床心理士（テスター）

高野 雄二 シニアスタッフ，鈴木 京子 シニアスタッフ，

松木 博 シニアスタッフ，黒堀 沙織 事務補佐員

（注）＊は産業医

他に臨床医学域，心理学域，体育系からの多数の教員の御協力，御支援をいただいた。

5. 対 応 業 務 等

4 月	入学式救護と新入生オリエンテーション対応 学群学生，大学院学生，研究生，日本語研修生等の定期健康診断と再検査 フレッシュマンセミナーでの講演
5 月	放射線業務従事者講習会に伴う電離放射線健康診断 学生定期健康診断に伴う再検査・精密検査 障害のある学生定期健康診断 職員一般定期健康診断 学生・職員特殊健康診断 職員便潜血検査・喀痰検査・前立腺特異抗原（PSA）検査 医学群学生ワクチン（B型肝炎）接種 春季スポーツ・デー救護
6 月	職員一般定期健康診断 学生・職員特殊健康診断 職員の便潜血検査・喀痰検査・前立腺特異抗原（PSA）検査 職員一般定期健康診断（東京地区） 学生・職員特殊健康診断（東京地区） 職員の便潜血検査・喀痰検査・前立腺特異抗原（PSA）検査（東京地区） 学生定期健康診断に伴う再検査・精密検査 体育専門学群学生水泳臨海実習参加者健康診断審査・精密検査 医学群学生ワクチン（B型肝炎）接種
7 月	放射線業務従事者講習会に伴う電離放射線健康診断 学生定期健康診断に伴う再検査・精密検査 共通科目「体育」集中実習（水辺活動）受講学生に対する健康診断審査・精密検査 大学院推薦入学試験に伴う救護 学群編入学試験に伴う救護
8 月	体育専門学群学生水泳臨海実習参加者健康診断審査・精密検査 大学院入学試験に伴う救護 受験生のための筑波大学説明会に伴う救護 全国大学保健管理協会・関東甲信越地方部会研究集会参加
9 月	
10 月	アドミッションセンター入学試験（第Ⅰ期），国際科学オリンピック特別入学試験， 国際バカロレア特別入学試験に伴う救護 大学院入学試験（10月期）に伴う救護 全国大学保健管理研究集会参加

11 月	秋学期入学者・外国人留学生健康診断と再検査 学生・職員特殊健康診断・眼底検査 放射線業務従事者講習会に伴う電離放射線健康診断 職員特殊健康診断（東京地区） 職員の胃 X 線検査・眼底検査（東京地区） 医学群学生ワクチン（インフルエンザ）接種 学園祭に伴う救護 秋季スポーツ・デー救護 学群推薦入学試験に伴う救護 学群推薦入学試験（体育専門学群）に伴う精密検査
12 月	職員の胃 X 線検査 大学院（グローバル教育院）入学試験に伴う救護 医学群学生ワクチン接種（B 型肝炎）
1 月	大学入試センター試験に伴う救護 全国学生相談研究会議参加 大学院入学試験に伴う救護 医学群学生ワクチン接種（B 型肝炎）
2 月	学生定期健康診断（医学類，看護・医療科学類，教育実習，介護等体験） 大学院入学試験に伴う救護（東京地区） 大学院入学試験（2 月期）に伴う救護 個別学力検査等試験前期日程に伴う精密検査・救護
3 月	放射線業務従事者講習会に伴う電離放射線健康診断 個別学力検査試験後期日程に伴う救護 卒業式・学位記授与式に伴う救護

（注）（東京地区）の記載のないものはすべて筑波地区で実施したもの。

標記の行事等対応業務のほか，次の日常的主要業務を行った。

- ・内科，整形外科，スポーツクリニック，歯科，精神科の日常診療，健康相談，随時応急措置
- ・学生，職員要経過観察者の管理
- ・学生相談，精神衛生相談，職業適性テスト，ロールシャッハテスト
- ・健康診断証明書の発行
- ・スポーツ健康診断
- ・海外派遣労働者健康診断

6. 入学志願者健康診断書審査及び精密健康診断

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
学 群											0		0
第 2 次											0		0
学 群 推 薦								29					29
A C 入 試								29					29
科 目 等													
履修生群生													
大 学 院													
科目等履修生													
大学院研究生													
研 究 生・													
聴 講 生													
理療科教員						7		1	8	3			19
養成施設						0		0	0	0			0
外 国 人													
留 学 生													
2学期入学													
編 入 学													
計						7		30	8	3	0		48
						0		29	0	0	0		29

※上段は書類審査数，下段は精密健康診断を実施

7. 学 生 健 康 診 断

1) 定期健康診断

i) 受診状況

a) 学群生

学 群 ・ 学 類		在籍者数 (人)						受診者数 (人)						受診率 (%)								
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合 計	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合 計	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合 計
人文・ 文化学群	人 文 学 類	177	127	130	160			594	145	99	85	109			438	81.9%	78.0%	65.4%	68.1%			73.7%
	比 較 文 化 学 類	119	85	93	104			401	106	69	66	72			313	89.1%	81.2%	71.0%	69.2%			78.1%
	日本語・日本文化学類	123	47	44	62			276	104	46	40	48			238	84.6%	97.9%	90.9%	77.4%			86.2%
	社 会 学 類	106	93	106	116			421	97	79	78	67			321	91.5%	84.9%	73.6%	57.8%			76.2%
社会・ 国際学群	国際総合学類	153	100	89	134			476	125	76	67	81			349	81.7%	76.0%	75.3%	60.4%			73.3%
	教 育 学 類	56	36	37	44			173	40	36	32	31			139	71.4%	100.0%	86.5%	70.5%			80.3%
	心 理 学 類	58	55	51	70			234	53	52	49	42			196	91.4%	94.5%	96.1%	60.0%			83.8%
	障 害 科 学 類	46	38	36	44			164	41	32	34	39			146	89.1%	84.2%	94.4%	88.6%			89.0%
生命環境 学学群	生 物 学 類	110	101	95	114			420	100	86	82	92			360	90.9%	85.1%	86.3%	80.7%			85.7%
	生 物 資 源 学 類	222	152	159	161			694	202	141	122	123			588	91.0%	92.8%	76.7%	76.4%			84.7%
	地 球 学 類	57	57	57	65			236	54	45	48	48			195	94.7%	78.9%	84.2%	73.8%			82.6%
	数 学 類	42	41	43	50			176	41	29	37	33			140	97.6%	70.7%	86.0%	66.0%			79.5%
理工学群	物 理 学 類	63	62	66	83			274	59	43	50	51			203	93.7%	69.4%	75.8%	61.4%			74.1%
	化 学 類	50	53	54	59			216	50	37	36	52			175	100.0%	69.8%	66.7%	88.1%			81.0%
	応 用 理 工 学 類	127	126	139	159			551	121	101	89	110			421	95.3%	80.2%	64.0%	69.2%			76.4%
	工学システム学類	137	139	137	171			584	136	109	113	112			470	99.3%	78.4%	82.5%	65.5%			80.5%
情報学群	社 会 工 学 類	124	126	125	150			525	123	102	93	88			406	99.2%	81.0%	74.4%	58.7%			77.3%
	情 報 科 学 類	86	86	99	133			404	82	48	79	83			292	95.3%	55.8%	79.8%	62.4%			72.3%
	情報メディア創生学類	55	55	64	74			248	52	46	51	55			204	94.5%	83.6%	79.7%	74.3%			82.3%
	知識情報・図書館学類	111	107	112	144			474	105	98	101	117			421	94.6%	91.6%	90.2%	81.3%			88.8%
グロ ー バ ル 教 育 院		12						12	11					11	91.7%							91.7%
	医 学 学 類	140	143	142	186	83	124	818	134	131	128	179	77	116	765	95.7%	91.6%	90.1%	96.2%	92.8%	93.5%	93.5%
医学群	看 護 学 類	76	72	81	85			314	76	71	79	80			306	100.0%	98.6%	97.5%	94.1%			97.5%
	医 療 科 学 類	41	37	42	49			169	39	36	37	43			155	95.1%	97.3%	88.1%	87.8%			91.7%
体育 芸術 合 計	専 門 学 群	291	248	255	279			1,073	249	243	240	230			962	85.6%	98.0%	94.1%	82.4%			89.7%
	専 門 学 群	134	109	110	139			492	119	88	92	104			403	88.8%	80.7%	83.6%	74.8%			81.9%
		2,716	2,295	2,366	2,835	83	124	10,419	2,464	1,943	1,928	2,089	77	116	8,617	90.7%	84.7%	81.5%	73.7%	92.8%	93.5%	82.7%

b) 大学院生

所	属	在籍者数	受診者数	受診率 (%)
修士課程	教 育	235	188	80.0%
	小 計	235	188	80.0%
博士課程	人 文 社 会 科 学	753	457	60.7%
	ビ ジ ネ ス 科 学	572	3	0.5%
	数 理 物 質 科 学	841	691	82.2%
	システム情報工学	1,463	1,073	73.3%
	生 命 環 境 科 学	1,215	883	72.7%
	人 間 総 合 科 学	2,284	1,112	48.7%
	図 書 館 情 報 メ デ ィ ア	225	105	46.7%
	グローバル教育院	145	98	67.6%
	小 計	7,498	4,422	59.0%
合 計		7,733	4,610	59.6%

c) 研究生等

	在籍者数	受診者数	受診率 (%)
外 国 人	381	381	100.0%
日 本 人	818	307	37.5%
合 計	1,199	688	57.4%

※ 4 月期, 10 月期入学含む。

ii) 健康診断再検査者

項 目		学 群 生				大 学 院 生				研 究 生 等				合 計			
		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果	
				要 治 療	経 過 観 察			要 治 療	経 過 観 察			要 治 療	経 過 観 察			要 治 療	経 過 観 察
胸 部 X 線		15	15	2	13	15	14	3	11	3	3		3	33	32	5	27
血 圧		17	13		4	31	27	2	7	4	4		2	52	44	2	13
尿	蛋 白	56	31		2	38	28		2	9	6		4	103	65	0	8
	糖	15	11		1	13	10	2	1	1	1		1	29	22	2	3
内 科 所 見		22	19	1	7	11	11		9	1	1		1	34	31	1	17
心 電 図		37	28		19									37	28	0	19
貧 血		28	22	6	16									28	22	6	16
肥 満		3	0		3									3	0	0	3
計		193	139	9	65	108	90	7	30	18	15	0	11	319	244	16	106

(注) 貧血検査対象者は、学群新入生女子及び、体育専門学群新入生男子である。

(注) 心電図検査対象者は、学群の新入生（但し編入生は除く）及び、体育専門学群生全員である。

(注) 結果：異常なしは、受検者数－（要治療＋経過観察）である。

2) 学生特殊健康診断

i) 電離放射線健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）

実 施 月	対 象 数	受 診 数	要再検数	結 果		
				異常なし	要 観 察	要 治 療
5 月（9 日）	114	105	0	92	13	0
5 月	227	195	0	175	20	0
7 月（4 日）	31	27	0	25	2	0
11 月（7 日）	25	24	0	22	2	0
11 月	308	262	0	241	21	0
平成31年 3 月（6 日）	41	40	0	38	2	0
合 計	746	653	0	593	60	0

（注）実施月のうち5月，11月以外は，新規に放射線作業に従事するために講習を受けた者のみの健康診断である。

ii) 有機溶剤健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）

実 施 月	対 象 数	受 診 数	要再検数	結 果		
				異常なし	要 観 察	要 治 療
5 月	44	44	0	41	3	0
11 月	17	17	0	14	3	0
合 計	61	61	0	55	6	0

3) 特定化学物質健康診断

i) 学群生及び大学院生（研究生含む）

実 施 月	対 象 数	受 診 数	要再検数	結 果		
				異常なし	要 観 察	要 治 療
5 月	49	49	0	44	5	0
11 月	20	20	0	18	2	0
合 計	69	69	0	62	7	0

8. 職 員 一 般 定 期 健 康 診 断

1) 定期健康診断

i) 受診者数及び受診率

(平成30年6月1日在職者，非常勤職員：週20時間以上の勤務者)

事業場	受診者数／職員数（受診率）		
	常勤	非常勤	全体
大学本部等事業場	2,316/2,566（90.3%）	607/648（93.7%）	2,923/3,214（90.9%）
附属病院事業場	1,747/1,769（98.8%）	488/502（97.2%）	2,235/2,271（98.4%）
東京キャンパス事業場	118/132（89.4%）	17/20（85.0%）	135/152（88.8%）
附属小学校事業場	35/38（92.1%）	9/10（90.0%）	44/48（91.7%）
附属中学校事業場	32/33（97.0%）		32/33（97.0%）
附属高等学校事業場	40/44（90.9%）	2/2（100.0%）	42/46（91.3%）
附属駒場中学校・ 附属駒場高等学校事業場	48/48（100.0%）	3/3（100.0%）	51/51（100.0%）
附属坂戸高等学校事業場	38/46（82.6%）	2/2（100.0%）	40/48（83.3%）
附属視覚特別支援学校事業場	106/108（98.1%）		106/108（98.1%）
附属聴覚特別支援学校事業場	102/103（99.0%）	3/3（100.0%）	105/106（99.1%）
附属大塚特別支援学校事業場	38/40（95.0%）	1/1（100.0%）	39/41（95.1%）
附属桐が丘特別支援学校事業場	67/70（95.7%）	9/10（90.0%）	76/80（95.0%）
附属久里浜特別支援学校事業場	39/41（95.1%）	3/3（100.0%）	42/44（95.5%）
計	4,726/5,038（93.8%）	1,144/1,204（95.0%）	5,870/6,242（94.0%）
（平成28年度）	4,580/5,107（89.7%）	1,123/1,188（94.5%）	5,703/6,295（90.6%）

(平成31年1月18日までの集計結果)

健康診断実施日 筑波地区：平成30年5月29日～6月7日（8日間） 11月6日～11月8日（3日間）

東京地区：平成30年6月20日～6月22日（3日間） 11月22日（1日間）

附属坂戸高等学校事業場，附属久里浜養護学校事業場，その他の遠隔地では別日程で実施。人間ドックや他の医療機関等の結果報告を含む。

ii) 項目別有所見者数及び率とその内訳

項 目	実施者数	有所見者		要経過観察		要精密検査		要治療		治療継続	
		人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率
聴力検査 (1000Hz)	3,097人	89人	2.9%	89人	2.9%	0人	0.1%	0人	0%	0人	0%
聴力検査 (4000Hz)	3,082人	164人	5.3%	164人	5.3%	0人	0.0%	0人	0%	0人	0%
聴力検査 (会話法)	2,719人	4人	0.1%	4人	0.1%	0人	0%	0人	0%	0人	0%
胸部エックス線 検査	5,708人	509人	8.9%	273人	4.8%	142人	2.5%	0人	0%	94人	1.6%
喀痰検査	0人										
血圧検査	5,841人	1,397人	23.9%	1,055人	18.1%	82人	1.4%	16人	0.3%	244人	4.2%
貧血検査	5,847人	1,244人	21.3%	1,027人	17.6%	129人	2.2%	57人	1.0%	31人	0.5%
肝機能検査	4,202人	1,057人	25.2%	712人	16.9%	340人	8.1%	3人	0.1%	2人	0.0%
血中脂質検査	4,196人	2,198人	52.4%	1,604人	38.2%	504人	12.0%	1人	0.0%	89人	2.1%
血糖検査	4,195人	701人	16.7%	607人	14.5%	82人	2.0%	9人	0%	3人	0.1%
尿検査(糖)	5,821人	93人	1.6%	4人	0.1%	42人	0.7%	0人	0%	47人	0.8%
尿検査(蛋白)	5,821人	80人	1.4%	66人	1.1%	9人	0.2%	0人	0%	5人	0.1%
心電図検査	4,221人	509人	12.1%	300人	7.1%	158人	3.7%	0人	0%	51人	1.2%

健康診断実施者中における上記項目全体の総合判定結果の人数と率

要経過観察		要精密検査		要治療		治療継続	
人数	率	人数	率	人数	率	人数	率
2,263人	38.6%	1,149人	19.6%	81人	1.4%	492人	8.4%

健康診断実施者中における上記項目全体の有所見者数及び率と要指示者数及び率

1つ以上所見のある者の数	有所見率	医療機関受診が必要な者の数	要指示率
3,985人	67.9%	1,283人	21.9%

iii) 労働安全衛生規則第13条第1項第2号の業務（特定業務）の従事者

業務	高熱	低温	放射線	粉じん	異常気圧	振動	重量物
人数	2人	4人	211人	1人	1人	0人	44人
業務	騒音	坑内	深夜	酸・アルカリ	有害物ガス	病原体汚染	その他
人数	2人	0人	515人	18人	5人	122人	0人

iv) 胃造影検査

地 区	対象数	受診数	受診率	要再検数
筑波地区	2,575人	28人	1.1%	0
東京地区	494人	14人	2.8%	0
合 計	3,069人	42人	1.4%	0

2) 特殊健康診断

i) 電離放射線健康診断：職員（常勤職員及び非常勤職員，研究員，その他）

実 施 月	対 象 数	受 診 数	要再検数	結 果		
				異常なし	要 観 察	要 治 療
5 月（9 日）	17	16	0	15	1	0
5 月	505	456	0	350	106	0
7 月（4 日）	3	3		3	0	0
11 月（7 日）	4	4		4	0	0
11 月	526	436	0	358	78	0
平成31年 3 月（6 日）	4	4		4	0	0
合 計	1,059	919	0	734	185	0

（注）実施月のうち5月，11月以外は，新規に放射線作業に従事するために講習を受けた者のみの健康診断である。

ii) 有機溶剤健康診断：職員（常勤職員及び非常勤職員，研究員，その他）

実 施 月	対 象 数	受 診 数	要再検数	結 果		
				異常なし	要 観 察	要 治 療
5 月	33	33	0	26	7	0
11 月	28	28	1	28	6	0
合 計	61	61	1	54	13	0

iii) 特定化学物質健康診断：職員（常勤職員及び非常勤職員，研究員，その他）

実 施 月	対 象 数	受 診 数	要再検数	結 果		
				異常なし	要 観 察	要 治 療
5 月	26	26	0	19	7	0
11 月	20	20	0	11	9	0
合 計	46	46	0	30	16	0

3) 特定健康診査（メタボリックシンドローム健康診断） 40歳以上職員

対象		対象者数	受診者数 (受診率)	危険度 0 (該当率)	危険度 1 (該当率)	危険度 2 (該当率)	危険度 3 (該当率)	危険度 4 (該当率)	判定不能 (該当率)
男	常勤	1,991人	1,624人 (81.6%)	894人 (55.0%)	151人 (9.3%)	285人 (17.5%)	223人 (13.7%)	70人 (4.3%)	1人 (0.1%)
	非常勤	152人	135人 (88.8%)	63人 (46.7%)	8人 (5.9%)	24人 (17.8%)	31人 (23.0%)	9人 (6.7%)	0人 (0.0%)
	小計	2,143人	1,759人 (82.1%)	957人 (54.4%)	159人 (9.0%)	309人 (17.6%)	254人 (14.4%)	79人 (4.5%)	1人 (0.1%)
女	常勤	1,078人	937人 (86.9%)	822人 (87.7%)	36人 (3.8%)	52人 (5.5%)	15人 (1.6%)	9人 (1.0%)	3人 (0.3%)
	非常勤	530人	481人 (90.8%)	426人 (88.6%)	11人 (2.3%)	24人 (5.0%)	16人 (3.3%)	4人 (0.8%)	0人 (0.0%)
	小計	1,608人	1,418人 (88.2%)	1,248人 (88.0%)	47人 (3.3%)	76人 (5.4%)	31人 (2.2%)	13人 (0.9%)	3人 (0.2%)
計		3,751人	3,177人 (84.7%)	2,205人 (69.4%)	206人 (6.5%)	385人 (12.1%)	285人 (9.0%)	92人 (2.9%)	4人 (0.1%)
治療薬服用者 (既治療率)				185人 (8.4%)		85人 (22.1%)	97人 (34.0%)	30人 (32.6%)	

●診断基準

1. 腹囲 男性85cm以上 女性90cm以上

+

2. 血糖：空腹時血糖が110mg/dl以上 または ヘモグロビンA1c値が5.5%以上
または 糖尿病で薬剤治療中
3. 血圧：収縮期血圧が130mmHg以上 または 拡張期血圧が85mmHg以上
または 高血圧で薬剤治療中
4. 脂質：中性脂肪値が150mg/dl以上 または HDLコレステロール値が40mg/dl未満
または 脂質異常症で薬剤治療中

●判定基準

危険度0（メタボリックシンドローム基準非該当）：全項目該当なし

危険度1（メタボリックシンドローム基準非該当）：腹囲のみ該当

危険度2（メタボリックシンドローム予備群該当）：腹囲＋1項目に該当

危険度3（メタボリックシンドローム基準該当）：腹囲＋2項目に該当

危険度4（メタボリックシンドローム基準該当）：全項目に該当

判定不能：未実施項目があり判定できない

4) その他

i) 便潜血反応検査

地 区	対象数	受診数	受診率	要再検数
筑波地区	2,575	141	5.5%	7
東京地区	494	57	11.5%	2
合 計	3,069	198	6.5%	9

(注) 対象は40才以上の常勤職員の希望者。

免疫学的便潜血反応検査（ラテックス凝縮法）を用いた。

ii) 喀痰細胞診検査

地 区	対象数	受診数	受診率	要再検数
筑波地区	2,575	70	2.7%	0
東京地区	494	46	9.3%	0
合 計	3,069	116	3.8%	0

(注) 対象は40才以上の常勤職員の希望者。3日間連続蓄痰法により検査した。

iii) 眼底検査

地 区	対象数	受診数	受診率	要再検数
筑波地区	157	80	51.0%	15
東京地区	27	15	55.6%	2
合 計	184	95	51.6%	17

(注) 対象はHbA1c 6.5以上、最高血圧160以上、最低血圧100以上のいずれかに該当する者。

iv) P S A検査

地 区	対象数	受診数	受診率	要再検数
筑波地区	924	468	50.6%	45
東京地区	161	84	52.2%	12
合 計	1,085	552	50.9%	57

(注) 対象は、S39.4.1以前生まれの常勤男性職員。

9. 保健管理センター利用状況

1) 健康相談月別利用状況

i) 学生内科受診数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人文・文化学群生	7	21	17	22	7	9	23	18	11	10	2	3	150
社会・国際学群生	4	17	15	13	2	6	18	12	8	7	5	2	109
人 間 学 群 生	1	12	12	8		2	5	7	6	7		1	61
生命環境学群生	7	25	20	19	2	8	14	18	14	13	10	9	159
理 工 学 群 生	11	35	20	37	10	12	35	29	15	12	6	4	226
情 報 学 群 生	3	18	13	13	1	1	5	7	7	5	5	4	82
医 学 群 生	7	20	14	11	6	9	14	13	14	2	6	1	117
体育専門学群生	2	23	12	11	8	8	11	9	13	5	1	3	106
芸術専門学群生	2	10	5	7	3	3	9	14	8	2	1	2	66
グローバル教育院 (学 士 過 程)								1					1
学 群 生 小 計	44	181	128	141	39	58	134	128	96	63	36	29	1,077
大 学 院 生	38	116	77	82	51	46	103	75	74	67	37	31	797
研 究 生 等	5	22	10	16	6	8	17	16	16	11	5	6	138
大学院・研究生等 小 計	43	138	87	98	57	54	120	91	90	78	42	37	935
合 計	87	319	215	239	96	112	254	219	186	141	78	66	2,012

ii) 学生整形外科受診数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人文・文化学群生	3	2	5	7		2	2	5	4	1	1	2	34
社会・国際学群生	1	2	2	8	4	5	6	1	6	1		4	40
人 間 学 群 生	2	4	4	3		3	2	2	4	1	1	2	28
生命環境学群生	3	15	7	9	5	6	12	10	5	3	3		78
理 工 学 群 生	3	21	11	13	2	6	10	10	18	4	6	5	109
情 報 学 群 生	1	3	2	2	2	3	4	6	4	4	1	3	35
医 学 群 生	6	10	13	16	7	12	8	10	6	2	3	4	97
体育専門学群生	9	21	20	27	18	32	22	30	20	12	14	12	237
芸術専門学群生		2	3			3			1		2		11
グローバル教育院 (学 士 過 程)													0
学 群 生 小 計	28	80	67	85	38	72	66	74	68	28	31	32	669
大 学 院 生	8	12	20	21	16	14	11	18	21	12	13	12	178
研 究 生 等	1	4	1	2	2		6	7	4	3	0		30
大学院・研究生等 小 計	9	16	21	23	18	14	17	25	25	15	13	12	208
合 計	37	96	88	108	56	86	83	99	93	43	44	44	877

iii) 学生外科処置受診数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人文・文化学群生	3	1	3		1		1	2	3	1	1		16
社会・国際学群生		4	2	1				2					9
人 間 学 群 生	1	1	1			1			3	2			9
生命環境学群生	2	2	5	3		1	1	2	2			2	20
理 工 学 群 生	1	4	5			2		1	3		2		18
情 報 学 群 生	1	2		1			1	1					6
医 学 群 生	4	4	1	2	2	2	1		2				18
体育専門学群生	1	4	1		1		1	1					9
芸術専門学群生	2	3		3	1		2	2			1		14
グローバル教育院 (学 士 過 程)													0
学 群 生 小 計	15	25	18	10	5	6	7	11	13	3	4	2	119
大 学 院 生	4	6	1	5	4	4	7	5	1	2	2	3	44
研 究 生 等	2	5	3	1	2	1	6	3	2		1	1	27
大学院・研究生等 小 計	6	11	4	6	6	5	13	8	3	2	3	4	71
合 計	21	36	22	16	11	11	20	19	16	5	7	6	190

iv) 学生歯科受診数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人文・文化学群生		3	6	5	7	3	4	4	5	7	4	1	49
社会・国際学群生	2	7	3	12	4	1	3	6	11	3	3	1	56
人 間 学 群 生		2	6	3	3	2	4	3	4		3	1	31
生命環境学群生	1	7	6	18	4	1	6	4	6	5		3	61
理 工 学 群 生	3	4	8	13	2	3	11	4	7	1	4	1	61
情 報 学 群 生	2	3	5	3	4	1	1	2	4	2	1	4	32
医 学 群 生	4	2	6	2	3	7	3	4	9	2	2	1	45
体育専門学群生			2	1	1	6	3	7	3	2	1	2	28
芸術専門学群生		2	3	8	3		6		3				25
グローバル教育院 (学 士 過 程)													0
学 群 生 小 計	12	30	45	65	31	24	41	34	52	22	18	14	388
大 学 院 生	23	44	42	50	56	39	50	49	65	39	28	32	517
研 究 生 等	1	1	6	2	3	6	4	20	30	7		2	82
大学院・研究生等 小 計	24	45	48	52	59	45	54	69	95	46	28	34	599
合 計	36	75	93	117	90	69	95	103	147	68	46	48	987

v) 職員・その他

月 区分/ 科別内訳	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
本学職員	8	14	19	32	22	8	15		22	16	10	8	174
その他の 外 来 者		1	1										2
区分合計	8	15	20	32	22	8	15	0	22	16	10	8	176
内 科	2	9	13	21	16	5	9		20	10	7	7	119
整形外科	3	2	2	8	4	2	3		1	3	2		30
歯 科	2		1	1	1		1		1				7
外科処置	1	4	4	2	1	1	2			3	1	1	20
科別合計	8	15	20	32	22	8	15	0	22	16	10	8	176

(注) その他の外来者とは、本学校内における公開講座，合宿の参加者，見学者などである。

2) 学生相談利用状況

i) 学生相談内訳

保健管理センターと春日相談室合計

区 分		修 学	進 路	友 人 関 係	異 性	結 婚	家 庭	情 緒 性 格	人 生 問 題	経 済	住 居	そ の 他 の 問 題	U P I 呼 出 面 接 * (1)	合 計	実 数
学 群 生	人 文 ・ 文 化 学 群	115	10	11	12		9	398				25	16	596	84
	社 会 ・ 国 際 学 群	6	22		1		8	48	1			10	4	100	26
	人 間 学 群	15	8	1	1		24	199	1	3		23	14	289	57
	生 命 環 境 学 群	73	14	2	1		1	138	4			14	26	273	71
	理 工 学 群	92	24		2		9	223	9			29	17	405	82
	情 報 学 群	43	6		11			331	1			11	7	410	50
	医 学 群	19		2			3	19				10	7	60	27
	体 育 専 門 学 群	1		4				12				12	3	32	11
	芸 術 専 門 学 群	27	7	8	2			266	6			4	5	325	45
	小 計	391	91	28	30		54	1634	22			138	99	2487	453
大 学 院 生	教 育 研 究 科	102					1	43				5		151	16
	人 文 社 会 科 学 研 究 科	18	3	2	3			160	50			9		245	26
	人 間 総 合 科 学 研 究 科	56	16	1			10	180	27			59		349	60
	生 命 環 境 科 学 研 究 科	30	6		3		3	174	26			35		277	40
	数 理 物 質 科 学 研 究 科	30	3	3	3			96				22		157	27
	シ ス テ ム 情 報 工 学 研 究 科	45	8		3		9	247	1			20		333	50
	図 書 館 情 報 メ デ ィ ア 研 究 科	16	11	1			3	99				1		131	11
	ビ ジ ネ ス 科 学 研 究 科							2						2	2
	グ ロ ー バ ル 教 育 院							10						10	3
	小 計	297	47	7	12		26	1011	104			151		1655	235
研 究 生								1						1	1
そ の 他		1						1				3		5	4
合 計		689	138	35	42		80	2647	126	3		292	99	4151	693
実 数		124	19	7	12		16	333	14	1		68	99	693	

(*) UPI (University Personality Inventory) とは、大学生の心の健康調査をいう。

UPI 呼出面接結果

実施総数 2179 名
呼び出し者数 441 名

UPI 面接結果	人
相談継続	32
本人希望せず等	27
問題なし	45
合計	104

(保健管理センター)

区 分		修 学	進 路	友人 関係	異 性	結 婚	家 庭	情 緒 性 格	人 生 問 題	経 済	住 居	その他の 問題	面 接 * (1)	U P I 呼 出	合 計	実 数
学 群	人 文 ・ 文 化 学 群	114	10	11	12		9	357				25	16	554	81	
	社 会 ・ 国 際 学 群	6	22		1		8	46	1			10	4	98	26	
	人 間 学 群	15	8	1	1		24	199	1	3		23	14	289	57	
	生 命 環 境 学 群	72	14	2	1		1	138	4			14	26	272	71	
	理 工 学 群	91	24		2		9	211	9			29	17	392	81	
	情 報 学 群	25	6		4			164	1			11	7	218	34	
	医 学 群	16		2			3	18				10	7	56	25	
	体 育 専 門 学 群	1		4				12				12	3	32	11	
	芸 術 専 門 学 群	27	7	8	2			265	6			4	5	324	45	
小 計		367	91	28	23		54	1410	22	3		138	99	2235	431	
大 学 院 生	教 育 研 究 科	102					1	43				5		151	16	
	人 文 社 会 科 学 研 究 科	18	3	2	3			158	50			9		243	26	
	人 間 総 合 科 学 研 究 科	53	16	1			10	180	27			59		346	59	
	生 命 環 境 科 学 研 究 科	30	6		3		3	170	26			35		273	40	
	数 理 物 質 科 学 研 究 科	29	3	1	1			92				22		148	27	
	シ ス テ ム 情 報 工 学 研 究 科	40	8		3		9	243	1			20		324	50	
	図 書 館 情 報 メ デ ィ ア 研 究 科	2		1			2	16						21	3	
	ビ ジ ネ ス 科 学 研 究 科							2						2	2	
	グ ロ ー バ ル 教 育 院							10						10	3	
小 計		274	36	5	10		25	914	104			150		1518	226	
研 究 生								1						1	1	
そ の 他		1						1				3		5	4	
合 計		642	127	33	33		79	2326	126	3		291	99	3759	662	
実 数		118	19	7	12		16	308	14	1		68	99	662		

(*1) UPI (University Personality Inventory) とは、大学生の心の健康調査をいう。

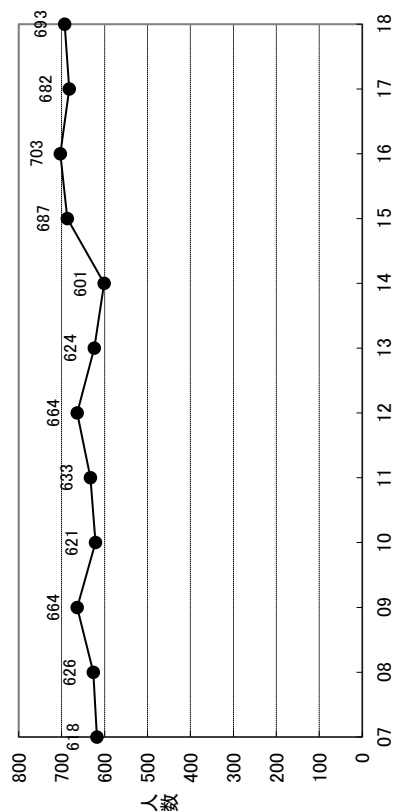
(春日での学生相談)

区 分		修 学	進 路	友人関係	異 性	結 婚	家 庭	情 緒 性 格	人 生 問 題	経 済	住 居	その他の問題	UPI 呼出 面接 *(1)	合 計	実 数
学 群	人 文 ・ 文 化 学 群	1						41						42	3
	社 会 ・ 国 際 学 群							2						2	
	人 間 学 群														
	生 命 環 境 学 群	1												1	
	理 工 学 群	1						12						13	1
	情 報 学 群	18			7			167						192	16
	医 学 群	3						1						4	2
	体 育 専 門 学 群														
	芸 術 専 門 学 群							1						1	
小 計		24			7			224						255	22
大 学 院 生	教 育 研 究 科														
	人 文 社 会 科 学 研 究 科							2						2	
	人 間 総 合 科 学 研 究 科	3												3	1
	生 命 環 境 科 学 研 究 科							4						4	
	数 理 物 質 科 学 研 究 科	1		2	2			4						9	
	シ ス テ ム 情 報 工 学 研 究 科	5						4						9	
	図 書 館 情 報 メ デ ィ ア 研 究 科	14	11				1	83				1		110	8
	ビ ジ ネ ス 科 学 研 究 科														
	グ ロ ー バ ル 教 育 院														
小 計		23	11	2	2		1	97				1		137	9
研 究 生															
そ の 他															
合 計		47	11	2	9		1	321				1		392	31
実 数		6						25						31	

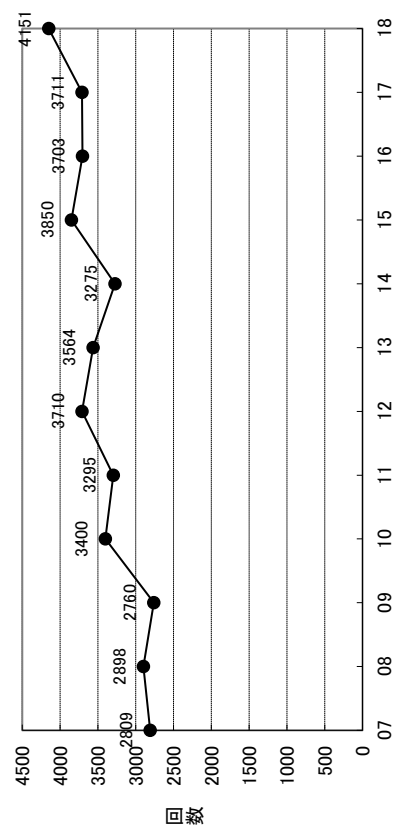
(*1) UPI (University Personality Inventory) とは、大学生の心の健康調査をいう。

ii) 学生相談室利用者の年次推移

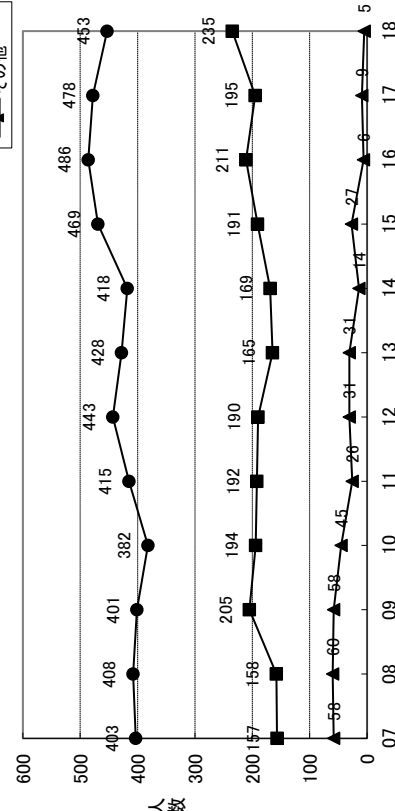
利用者実数(学生相談室)



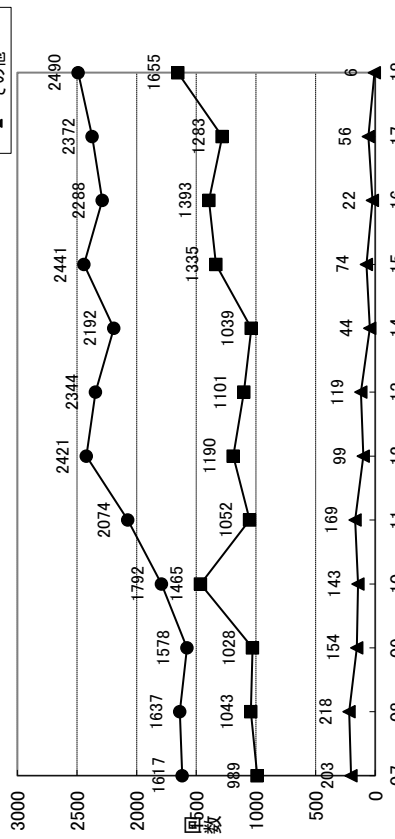
延べ面接等回数(学生相談室)



所属別利用者実数(学生相談室)



所属別延べ面接等回数(学生相談室)



iii-1) 総合相談窓口内訳（スチューデントプラザ相談窓口と春日相談窓口の合計）

	学生本人	保護者・家族	友人・知人	教職員	その他	総計
相 談						
進路	36	2				38
修学	122	48		13		183
情緒・性格	51	7		4		62
対人関係	64	5	1	5		75
症状・疾患	54	9	2	8		73
学生生活	21	1		3		25
事件・事故対応	4			2		6
自殺関係	9	2	3	5		19
ハラスメント	11			4		15
各種問い合わせ		1				1
その他	9	1				10
	381	76	6	44		507
問い合わせ						
進路	3	1				4
修学	23	3		2		28
情緒・性格						
対人関係	3					3
症状・疾患	3	1				4
学生生活	28	4		2	1	35
事件・事故対応	4					4
自殺関係						
ハラスメント					2	2
各種問い合わせ	116	31		2	5	154
その他	4					4
	184	40		6	8	238
苦情要望						
進路						
修学				1		1
情緒・性格				1		1
対人関係	1					1
症状・疾患						
学生生活	1					1
事件・事故対応						
自殺関係						
ハラスメント						
各種問い合わせ						
その他						
	2			2		4
その他						
進路						
修学						
情緒・性格				1		1
対人関係				1		1
症状・疾患						
学生生活						
事件・事故対応				3		3
自殺関係						
ハラスメント						
各種問い合わせ						
その他	4			7	1	12
	4			7	1	11
総 計	571	116	6	59	9	761

iii-2) 総合相談窓口内訳（スチューデントプラザ相談窓口利用状況）

	学生本人	保護者・家族	友人・知人	教職員	その他	総計
相 談						
進路	33	2				35
修学	109	39		9		157
情緒・性格	46	7		4		57
対人関係	58	5	1	3		67
症状・疾患	45	7	2	1		55
学生生活	21	1		1		23
事件・事故対応	4			2		6
自殺関係	9	2	2	5		18
ハラスメント	9			4		13
各種問い合わせ		1				1
その他	9	1				10
	343	65	5	29		442
問い合わせ						
進路	2					2
修学	18	3		2		23
情緒・性格						
対人関係	2					2
症状・疾患	3	1				4
学生生活	28	4		2	1	35
事件・事故対応	4					4
自殺関係						
ハラスメント					2	2
各種問い合わせ	102	26		2	5	135
その他	4					4
	163	34		6	8	211
苦情要望						
進路						
修学				1		1
情緒・性格						
対人関係			1			1
症状・疾患						
学生生活	1					1
事件・事故対応						
自殺関係						
ハラスメント						
各種問い合わせ						
その他						
	1		1	1		3
その他						
進路						
修学						
情緒・性格						
対人関係				1		1
症状・疾患						
学生生活						
事件・事故対応				3		3
自殺関係						
ハラスメント						
各種問い合わせ						
その他	4			1	1	6
	4			5	1	10
総 計	511	99	6	41	9	666

iii-3) 総合相談窓口内訳（春日相談窓口利用状況）

	学生本人	保護者・家族	友人・知人	教職員	その他	総計
相 談						
進路	3					3
修学	13	9		4		26
情緒・性格	5					5
対人関係	6			2		8
症状・疾患	9	2		7		18
学生生活				2		2
事件・事故対応						
自殺関係			1			1
ハラスメント	2					2
各種問い合わせ						
その他						
	38	11	1	15		65
問い合わせ						
進路	1	1				2
修学	5					5
情緒・性格	1					1
対人関係						
症状・疾患						
学生生活						
事件・事故対応						
自殺関係						
ハラスメント						
各種問い合わせ	14	5				19
その他						
	21	6				27
苦情要望						
進路						
修学						
情緒・性格				1		1
対人関係						
症状・疾患						
学生生活						
事件・事故対応						
自殺関係						
ハラスメント						
各種問い合わせ						
その他						
				1		1
その他						
進路						
修学						
情緒・性格				1		1
対人関係						
症状・疾患						
学生生活						
事件・事故対応						
自殺関係						
ハラスメント						
各種問い合わせ						
その他				1		1
				2		2
総 計	59	17	1	18		95

3) 精神衛生相談利用状況

i) 精神衛生相談内訳

区 分			延数	実数
学 群	人文・文化学群	人 文 学 類	283	32
		比 較 文 化 学 類	72	12
		日本語・日本文化学類	114	8
	社会・国際学群	社 会 学 類	97	12
		国 際 総 合 学 類	41	15
	人間学類	教 育 学 類	15	2
		心 理 学 類	104	12
		障 害 科 学 学 類	72	15
	生命環境学群	生 物 学 類	159	21
		生 物 資 源 学 類	127	22
		地 球 学 類	10	5
	理工学群	数 学 類	22	2
		物 理 学 類	32	8
		化 学 類	43	7
		応 用 理 工 学 類	57	12
		工学システム学類	225	29
		社 会 工 学 類	91	8
	情報学群	情 報 科 学 類	136	17
		情報メディア創成学類	35	9
		知識情報・図書館学類	131	18
	医学群	医 学 類	141	23
		看 護 学 類	58	9
		医 療 科 学 類	26	1
	体 育 専 門 学 群		39	9
	芸 術 専 門 学 群		198	27
小	計		2328	335

区 分			延数	実数
大学院生	修 士（前期）課 程		1051	147
	博 士（後期）課 程		444	57
	小 計		1495	204
研 究 生			51	13
そ の 他			19	10
合 計			3893	562

ii) ICD-10分類による学生の診断別件数（実数）と副診断

器質性精神障害

F06	1	
計	1	

成人の人格および行動の障害

F60	4	84(1)
F63	1	
F64	2	43(1)
計	7	

統合失調症，統合失調症型障害および
妄想性障害

副診断

F20	24	
F21	13	84(1)
F28	1	
計	38	

統合失調症

心理的発達の障害

副診断

F80	1	
F84	36	21(1), 31(1), 42(1), 43(5), 51(1), 90(6)
計	37	

広汎性発達障害

気分障害

副診断

F31	25	42(1), 84(2), 90(1)
F32	77	42(1), 60(1), 84(5), 90(2), 98(1), G40(1)
F33	14	90(2)
F34	13	
F38	8	84(2)
計	137	

躁うつ病

うつ病

反復性うつ病

持続性気分障害

小児＜児童＞期及び青年期に通常発症する
行動及び情緒の障害

副診断

F90	19	32(2), 34(2), 38(2), 84(2)
F94	2	43(1)
F98	2	33(1)
計	23	

多動性障害

神経症性障害，ストレス関連障害および
身体表現性障害

副診断

F40	15	84(2)
F41	23	50(2), 84(2), 90(3)
F42	9	40(1), 84(2)
F43	191	13(1), 31(1), 34(1), 51(3), 60(1), 63(1), 84(17), 90(8), G40(1)
F44	4	60(1)
F45	7	90(1)
F48	3	
計	252	

社会不安障害など

パニック障害など

適応障害

その他

てんかん	2	
問題なし	12	
計	14	

生理的障害および身体的要因に関連した
行動症候群

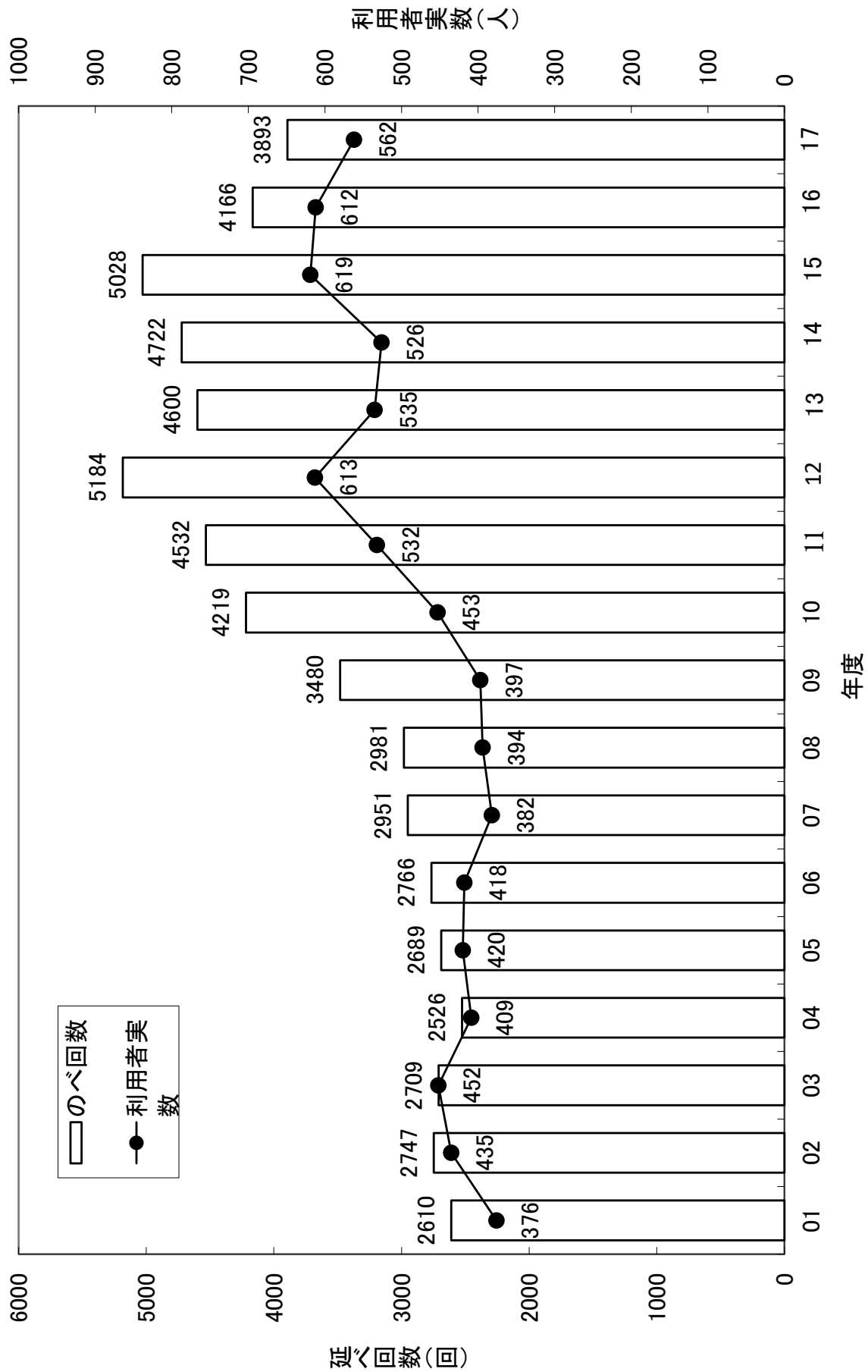
副診断

F50	12	32(1), 41(1), 60(1), 90(1)
F51	39	43(2), 84(4), 94(1)
F54	2	38(1), 90(1)
計	53	

摂食障害

非器質性睡眠障害

iii) 精神衛生相談利用者の年次推移（延数と実数）



10. そ の 他

1) 予防接種者

i) B型肝炎ワクチン接種

対 象	接 種 数
医 学 類	362
看 護 学 類	216
医 療 科 学 類	111
計	689

注：B型肝炎ワクチン接種は、医学群の学生で希望者に実施した。1～3回目の延数である。

ii) インフルエンザワクチン接種

対 象	接 種 数
医 学 類	247
看 護 学 類	131
医 療 科 学 類	37
計	415

注：インフルエンザワクチン接種は、医学群の学生で、実習上接種の必要な希望者に実施した。

2) HBs抗原抗体検査

対 象	HBs抗原検査			HBs抗体検査		
	陽性	陰性	計	陽性	陰性	計
理療科教員養成施設学生			48			48
職 員			27			27
計	0	0	75	0	0	75

注：HBs抗原抗体検査は、理療科教員養成施設所属の職員と学生（新入生）が対象である。

3) 臨床検査実施数

月	血 液	尿	心 電 図	そ の 他	合 計
平成30年 4 月	2	3	3		8
5 月		12	8	2	22
6 月	2	27	6	2	37
7 月	2	6	23	2	33
8 月	2	4	12	1	19
9 月	3	4	1	1	9
10月	13	4	0	4	21
11月	2	13	3	1	19
12月	5	6	3		14
平成31年 1 月	2	5	2	1	10
2 月	3	8	3	2	16
3 月	2	3	3	2	10
合 計	38	95	67	18	218

4) エックス線写真撮影件数及び枚数

区分	学 生						職 員						合 計	
	一般撮影		デンタル		計		胸 部 その他		デンタル		計			
月	件数	枚数	件数	枚数	件数	枚数	件数	枚数	件数	枚数	件数	枚数	件数	枚数
4	38	2	9	10	47	12	4	1	0	0	4	1	51	13
5	93	2	23	39	116	41	4	0	0	0	4	0	120	41
6	95	9	20	29	115	38	2	0	1	2	3	2	118	40
7	108	6	27	41	135	47	5	0	1	1	6	1	141	48
8	52	5	26	45	78	50	4	0	0	0	4	0	82	50
9	81	7	22	35	103	42	1	0	0	0	1	0	104	42
10	84	9	27	36	111	45	1	0	0	0	1	0	112	45
11	92	4	31	47	123	51	3	0	0	0	3	0	126	51
12	82	5	30	51	112	56	3	0	0	0	3	0	115	56
1	32	6	13	16	45	22	4	0	0	0	4	0	49	22
2	43	2	11	17	54	19	1	0	0	0	1	0	55	19
3	38	5	12	19	50	24	2	0	0	0	2	0	52	24
合計	838	62	251	385	1,089	447	34	1	2	3	36	4	1,125	451
学生定期健康診断撮影 12,175 名														
職員定期健康診断撮影 5,667 名														

5) 処方箋発行数

	発 行 数
平成30年 4 月	319
5 月	578
6 月	500
7 月	522
8 月	354
9 月	353
10月	581
11月	553
12月	516
平成31年 1 月	378
2 月	284
3 月	284
合 計	5,222

6) 外部診療機関紹介状況

区分 \ 科分類	内科	整形外科	歯科	耳鼻科	眼科	婦人科	皮膚科	泌尿器科	救急外来	その他	合計
学 群 生	78	24	20	8	0	0	2	1	8	96	237
大 学 院 生	58	3	31	9	0	5	5	6	4	57	178
研 究 生	19	2	8	3	0	0	4	0	0	4	40
学 生 合 計	155	29	59	20	0	5	11	7	12	157	455
職 員・そ の 他	11	1	1	0	0	2	1	5	0	11	32
合 計	166	30	60	20	0	7	12	12	12	168	487

注) 区分のその他とは、本学校内における公開講座、合宿の参加者、見学者などである。

7) 健康診断証明書等発行数

	センター発行	自動証明書発行 装 置 発 行	合 計
学 群 生	819	4,977	5,796
大 学 院 生	124	4,600	4,724
研 究 生	19		19
職 員	32		32
そ の 他	0		0
合 計	994	9,577	10,571

自動証明発行装置は、学生和文定型書式のみ。

その他は、学振・特別研究員等である。

8) 救護活動

No.	実施期間	行事等名称	救護班設置場所	利用者数
1	平成30年 4/6	入学式	保健管理センター	2
2	5/12・13	春季スポーツデー	保健管理センター	6
3	5/17	平成30年度 春季留学フェア	保健管理センター	0
4	7/3・4	大学院推薦入学試験（7月期）	保健管理センター	0
5	7/14・15	H30年度 帰国生徒特別入試（10月入学） H31年度 学群編入学入学試験	保健管理センター	0
6	7月24日	大子町オープンキャンパス	保健管理センター	1
7	8/4・5・11	大学説明会	保健管理センター・ 春日キャンパス救護室	1
8	8/21～29 （土日除く6日間）	大学院入学試験（8月期）	保健管理センター	2
9	8/28・29	ヒューマンバイオロジ学位プログラム （HBP）8月期入試	保健管理センター	0
10	10/1～15 （土日除く10日間）	H30年度 学群AC入試・国際科学オリ ンピック特別入試・国際バカロレア特別 入試	保健管理センター	0
11	10/16～11/11 （土日除く20日間）	大学院入学試験（10月期）	保健管理センター	0
12	11/2・3・4	学園祭	保健管理センター	4
13	11/10～11	センター試験プレテスト	保健管理センター	0
14	11/17・18	秋季スポーツデー	保健管理センター	4
15	11/29・30	推薦入試	保健管理センター / 体芸試験本部救護室 （11/29のみ）	0
16	12/3	エンパワーメント情報学入試	保健管理センター	0
15	平成31年 1/19・20	大学入試センター試験	各入試会場救護室	26
16	1/22～23	大学院博士課程入試 1月期入試	保健管理センター	0
17	2/1・4・5	大学院博士課程入試 2月期入試	保健管理センター	0
18	2/25・26	個別学力検査等（前期日程） 学群編入学試験	各入試会場救護室	3
19	3/12	個別学力検査等（後期日程）	各入試会場救護室	1
20	3/22	卒業式	保健管理センター	0
計				50

9) 救急箱貸出数

	貸 出 数
平成30年 4 月	14
5 月	18
6 月	0
7 月	4
8 月	3
9 月	2
10月	2
11月	28
12月	6
平成31年 1 月	10
2 月	8
3 月	10
合 計	105

11. 学 内 広 報 ・ 研 修 活 動

1) 広報活動

“STUDENTS” ―保健管理センターだより―

No.678 (平成30年4月6日発行)

保健管理センターのご利用案内

坂本 透

No.679 (平成30年6月21日発行)

不安な気持ちになったときは～巻き込まれずに付き合うコツ～

慶野 遥香

『紫峰の風』 ―学生相談室から―

第 8 号 (平成30年4月発行)

こんなときどうしたらいい? : 学生相談機関のご案内

田附 あえか

第 9 号 (平成30年7月発行)

学生同士の支え合い～ピア・サポートとは

田中 崇恵

第10号 (平成30年12月発行)

保健管理センター改革と学生相談室

杉江 征

第11号 (平成31年2月発行)

家族も成長する

田附 あえか

2) 研修活動

(1) 第41回自己開発のための合宿セミナー

1. 期 日 平成30年 7 月19日（木）～ 7 月20日（金） 1 泊 2 日
2. 場 所 豊里ゆかりの森（つくば市遼東）
3. 参加人数 16名（学生12名，教職員 4 名）
4. 指導教員 杉江征，田附あえか，田中崇恵，慶野遥香
5. 日 程 表

7 月 19 日（木）		7 月 20 日（金）	
		7：00	起床
		8：00	朝食
		9：00	Session 5 私の大切なもの
		10：30	Session 6 NASA からの挑戦
12：30	集合（学生相談室）	12:00	昼食
	ゆかりの森へ出発		
13：00	開会式・オリエンテーション	13:00	Session7 別れの花束
13：30	Session1 自己紹介ワーク		
14：30	Session2 フィンガーペインティング	14:30	シェアリング
		15:30	閉会式・記念撮影
16：00	チェックイン		
16：15	Session3 Outdoor Cooking	16:30	大学へ出発
		17:00	大学到着・解散式
19：15	自由時間		
21：00	Session4 全体討論会		
	入浴・就寝		

(2) フレッシュマンセミナーへの出講

総合科目Ⅰ「フレッシュマンセミナー」への出講依頼があった学類・クラスに対し、学生相談室の教員が学生のメンタルヘルスや学内相談機関の利用の仕方などについて出講授業を行っている。平成30年度の実施日時と担当者は以下の通りであった。

実施日時	担当学類・クラス	担当教員
4月20日（金）8：45～9：25	人間学群（3学類合同）	田中崇恵
5月2日（水）12：15～13：30	生物学類	慶野遥香
5月9日（水）12：15～13：30	工学システム学類（1～3クラス）	慶野遥香
5月11日（金）16：45～18：00	物理学類	田中崇恵
5月16日（水）12：15～13：30	知識情報・図書館学類	田附あえか
5月23日（水）13：45～15：00	生物資源学類	田附あえか
5月30日（水）13：45～15：00	社会学類	杉江征
6月4日（月）15：15～16：30	工学システム学類（4～6クラス）	田中崇恵
6月4日（月）13：45～15：00	人文学類	慶野遥香
6月8日（金）15：15～16：30	芸術専門学群	田中崇恵
6月11日（月）13：45～15：00	比較文化学類	田附あえか
6月18日（月）13：45～15：00	日本語・日本文化学類	田附あえか
6月29日（金）16：45～18：00	化学類	杉江征

(3) キャンパスライフセミナー

第1回 アニメ心理分析入門

1. 対 象 筑波大生
2. 期 日 平成30年11月28日（水）13：30～17：00
3. 場 所 大学会館3階第3会議室
4. 参加人数 23名
5. 担 当 田中崇恵
6. 内 容 アニメ作品について心理学的の知識等を用い分析することを通じて、多角的なものの見方について学んだ。また、グループワークを通じて実際にアニメ作品の分析・発表し、多様な意見があることを体験した。

第2回 自己表現力アップ講座～アサーションを使ったコミュニケーション入門～

1. 対 象 筑波大生
2. 期 日 平成30年12月5日（水）14：00～16：30
3. 場 所 人間系学系棟B301
4. 参加人数 8名

5. 担 当 慶野遥香

6. 内 容 心理学の知識やスキルを用いて、アサーションを用いたコミュニケーションの講義を行った。また、実際にペアやグループワークを通じて、実践的な状況のもと自己表現の訓練を行った。

(4) 学群教育改革推進事業「筑波大学におけるピア・サポーター制度の導入について」の活動

①北海道大学高等教育推進機構への視察

1. 期 日 平成31年 3 月 8 日（木）

2. 場 所 北海道大学

3. 担 当 杉江征・田中崇恵

（学生生活支援室より加賀信広教授，学生生活課より葛山清光課長）

4. 内 容 北海道大学高等教育推進機構を訪問し，初年度教育にかかる総合教育部やクラス担任等の情報収集を行った。またピア・サポート活動を担当している教職員からも情報交換を行った。本学の新入試制度を見据え，いかに新入生の学生支援を行っていくことができるか検討した。

②ぴあのわ2019（全国大学ピアサポーター合同研修会）への参加

1. 対 象 全国大学ピアサポーター合同研修会への参加者（筑波大学より有志の学生が参加）

2. 期 日 平成31年 3 月 9（金）～10日（土）

3. 場 所 北海道大学

4. 参加人数 筑波大学より10名（学生 6 名，教職員 4 名）

5. 担 当 杉江征・田中崇恵

（学生生活支援室より加賀信広教授，学生生活課より葛山清光課長）

6. 内 容 他大学でのピア・サポート活動の実践についての発表を聞くとともに，意見交流を行い筑波大学での実践に活かせる知見を収集した。また，浦河べてるの家の方から講演をいただき，ピア・サポートなど当事者同士の支え合いという活動の本質的な理念や精神について理解を深めた。

医療安全教育研修

第1回 診療の安全に関する研修【医療事故防止対策―診断・治療編】

感染・医薬品・医療機器に関する研修

1. 対 象 筑波大学附属病院職員等
2. 期 日 平成30年12月（DVD上映複数開催）
3. 場 所 保健管理センター 会議室
4. 参加人数 24名
5. 担 当 附属病院臨床医療管理部外
6. 内 容
 - ・医療事故防止に関する基本的事項
 - ・医療事故防止対策 ―診断・治療編―
 - ・院内感染対策
 - ・医薬品の安全使用
 - ・医療機器の安全使用

第2回 診療の安全に関する研修

1. 対 象 筑波大学附属病院職員等
2. 期 日 平成30年11月1日～平成31年1月31日
3. 場 所 学内専用システム manaba
4. 参加人数 24名
5. 担 当 附属病院臨床医療管理部外
6. 内 容
 - ・（医療安全）医療事故防止に関する基本的事項
 - ・（感染管理）感染胃腸炎の対応他
 - ・（医薬品）後発医薬品の適性使用について他
 - ・（医療機器）医療機器に関する研修実施と実施記録提出

12. 研 究 業 績

<原著論文>

1. Sumitomo N, Baba R, Doi S, Higaki T, Horigome H, Ichida F, Ishikawa H, Iwamoto M, Izumida N, Kasamaki Y, Kuga K, Mitani Y, Musha H, Nakanishi T, Yoshinaga M, Abe K, Ayusawa M, Hokosaki T, Kato T, Kato Y, Ohta K, Sawada H, Ushinohama H, Yoshiba S, Atarashi H, Hirayama A, Horie M, Nagashima M, Niwa K, Ogawa S, Okumura K, Tsutsui H: Japanese Circulation Society and the Japanese Society of Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery of Joint Working: Guidelines for Heart Disease Screening in Schools (JCS 2016/JSPCCS 2016) - Digest Version. *Circulation Journal* 82(9): 2385-2444, 2018.
2. Kanazawa J, Masuko H, Yatagai Y, Sakamoto T, Yamada H, Kitazawa H, Iijima H, Naito T, Saito T, Noguchi E, Hirota T, Tamari M, Hizawa N: Association analyses of eQTLs of the TYRO3 gene and allergic diseases in Japanese populations. *Allergol Int.* 68(1): 77-81, 2019.
3. Kanazawa J, Masuko H, Yamada H, Yatagai Y, Sakamoto T, Kitazawa H, Iijima H, Naito T, Hirota T, Tamari M, Hizawa N: How important is allergic sensitization as a cause of atopic asthma? *Allergol Int.* 67(2): 292-294, 2018.
4. Nakajima M, Kawaguchi M, Matsuyama M, Ota K, Fujita J, Matsukura S, Huang SK, Morishima Y, Ishii Y, Satoh H, Sakamoto T, Hizawa N: Transcription Elongation Factor P-TEFb Is Involved in IL-17F Signaling in Airway Smooth Muscle Cells. *Int Arch Allergy Immunol.* 176(2): 83-90, 2018.
5. Yamada T, Hamano Y, Hasegawa N, Seo E, Fukuda K, Yokoyama KK, Hyodo I, Abei M: Oncolytic Virotherapy and Gene Therapy Strategies for Hepatobiliary Cancers. *Curr Cancer Drug Targets.* 18(2): 188-201, 2018.
6. Funayama T, Tsukanishi T, Mataka K, Abe T, Noguchi H, Kumagai H, Nagashima K, Miura K, Koda M, Yamazaki M: Dynamic Computed Tomography Myelography including the Prone Position as a Reliable Preoperative Imaging Method for Osteoporotic Vertebral Fracture with Neurological Deficits: A Preliminary Report of Three Cases. *J Spinal Surg.* 5: 57-62, 2018.
7. Funayama T, Noguchi H, Abe T, Miura K, Nagashima K, Kumagai H, Fujii K, Mataka K, Koda M, Yamazaki M: A case of thoracic disc herniation characterized by marked posture-related dynamic changes in neurological symptoms. *Interdisciplinary Neurosurgery* 14: 1-4, 2018.
8. Funayama T: German-Japanese Society for Orthopaedics and Trauma fellowship program 2017. *The Bulletin of German-Japanese Society for Orthopaedics and Trauma (GJSOT)* 1: 45-48, 2018
9. Lebowitz A, Tachikawa H, Aiba M, Okamoto Y, Takahashi S, Nemoto K, Arai T: Post-flood social support networks and morbidity in Jōsō City, Japan. *Psychiatry Res.* 271: 708-714, 2019.
10. Miyauchi E, Ide M, Tachikawa H, Nemoto K, Arai T, Kawasaki M: A novel approach for assessing neuromodulation using phase-locked information measured with TMS-EEG. *Sci Rep.* 9(1): 428, 2019.
11. 廣瀬 優, 長谷川直之, 溝上裕士: WONに対する内視鏡的ドレナージ後に発症した十二指腸狭窄に対して保存的加療が奏功した1例. *Progress of Digestive Endoscopy* 92(1):112-113, 2018.

12. 福生泰久, 太刀川弘和, 高木善史, 吉田 航, 小見めぐみ, 新井哲明, 渡 路子: 平成28年熊本地震におけるDPAT支援の概要: 災害時精神保健医療情報支援システム(DMHSS)の集計データから. 精神科救急 21: 86-94, 2018.
13. 安達 亨, 山崎 浩, 小松雄樹, 橋本直明, 山上 文, 篠田康俊, 芳沢礼佑, 服部 愛, 蔡 榮鴻, 増田慶太, 町野 毅, 黒木健志, 関口幸夫, 久賀圭祐, 野上昭彦, 青沼和隆: 高周波ホットバルーンカテーテルによる右上肺静脈焼灼中に肺静脈電位ならびに上大静脈電位の電氣的隔離が観察された発作性心房細動の1例. 臨床心臓電気生理 41: 205-212, 2018.
14. 田附あえか, 大塚 斉: 児童養護施設における心理職の役割と家族支援～子どもが育つ場での心理的援助. 日本家族心理学会編『日本家族心理学年報36: 福祉分野に生かす個と家族を支える実践』: 51-61, 2018.
15. 大塚 斉, 田附あえか: 児童養護施設における性的問題: 親密な人間関係と性の育ち. 精神療法 44(5): 41-45, 2018.
16. 石井映美, 太刀川弘和, 白鳥裕貴, 佐々木恵美, 新井哲明: 発達障害学生における自殺関連事象について―他疾患と比較した検討―. CUMPUS HEALTH 56(1): 408-409, 2019.
17. 石見 拓, 潤間励子, 梶谷康介, 木内喜孝, 久賀圭祐, 羽賀将衛, 松崎慶一, 安宅勝弘, 柳元伸太郎, 山本明子, 山本裕之, 山本祐二, 吉原正治: 大学における健康診断・健康関連情報の標準化についてのガイドライン. 国立大学保健管理施設協議会 調査委員会報告: 3-125, 2019.

<総説>

1. 田附あえか: こんなときどうしたらいい?: 学生相談機関のご案内. 紫峰の風8, 2018.
2. 田附あえか: 家族療法の歴史. 日本家族心理学会編『家族心理学ハンドブック』: 218-223, 2019.
3. 田附あえか: 家族も成長する. 紫峰の風11, 2019.
4. 太刀川弘和: 地域社会と自殺―自殺対策の観点から―. 最新精神医学 24(1): 51-59, 2019.

<著書>

1. Sakamoto T, Hizawa N: Genetics in Asthma; Advances in Asthma (edited by Akihito Yokoyama), Springer (Singapore), pp3-18, December, 2018.
2. 太刀川弘和: エビデンスに基づいた自殺未遂者支援の施策化; 救急医療から地域へとつなげる自殺未遂者支援のエッセンス HOPEガイドブック. 日本自殺予防学会監修. へるす出版(東京), pp.31-39, 5月, 2018.
3. 太刀川弘和: 自殺未遂の背景にあるもの: リスク因子と防御因子 1. 総論; 救急医療から地域へとつなげる自殺未遂者支援のエッセンス HOPEガイドブック. 日本自殺予防学会監修. へるす出版(東京), pp.126-129, 5月, 2018.
4. 太刀川弘和: 気分障害と自殺, 自傷行為; 最新医学別冊 診断と治療のABC 141 うつ病と双極性障害. 井上 猛編集. 最新医学(東京), pp.213-222, 12月, 2018.
5. 太刀川弘和(著): つながりからみた自殺予防. 人文書院(京都), 2月, 2019.
6. 藤田一喬, 坂本 透: 呼吸器・胸部の疾患 慢性閉塞性肺疾患(COPD); Common Diseaseの病

態生理と薬物治療. 寺田 弘/金保安則/原 晃監修. オーム社(東京), pp62-66, 3月, 2019.

<研究報告書>

1. 太刀川弘和：常総こころの相談チームの活動. 平成27年関東・東北豪雨による常総市鬼怒川水害へのこころのケア活動 活動報告書, pp6-6, 2018.
2. 太刀川弘和：常総市民こころの健康調査. 平成27年関東・東北豪雨による常総市鬼怒川水害へのこころのケア活動 活動報告書, pp8-8, 2018.
3. 太刀川弘和：中長期の支援活動. 平成27年関東・東北豪雨による常総市鬼怒川水害へのこころのケア活動 活動報告書, pp11-11, 2018.
4. 太刀川弘和：まとめと今後の展望. 平成27年関東・東北豪雨による常総市鬼怒川水害へのこころのケア活動 活動報告書, pp13-14, 2018.
5. 太刀川弘和, 高橋 晶, 福生泰久, 高木善史, 新井哲明：過去4災害のDPAT活動の分析研究. 厚生労働省科学研究費補助金政策総合研究事業(精神障害分野)災害派遣精神医療チーム(DPAT)の機能強化に関する研究. 平成29年度総括・分担研究報告書, pp7-16, 2018.
6. 太刀川弘和, 相羽美幸, 翠川晴彦, 吉田恵太郎, 黒田直明, 仲嶺 真, 高橋 晶, 塚田恵鯉子, 新井哲明：ソーシャルキャピタルの関連解析, 中高年の精神指標(睡眠, 抑うつ, 自殺率)の関連解析. 平成29年度厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)健康寿命及び地域格差の要因分析と健康増進対策の効果検証に関する研究. 平成29年度総括・分担研究報告書, pp19-21, 2018.
7. 太刀川弘和：大学生の自殺予防一つながりの観点から一. 平成30年度群馬県内大学等メンタルヘルス研究会報告書, pp20-34, 2019.

<学会発表>

1. Kanazawa J, Masuko H, Yatagai Y, Yamada H, Sakamoto T, Kitazawa H, Iijima H, Naito T, Hirota M, Tamari M, Hizawa N: TYRO3: A Gene for Allergic Rhinitis? American Thoracic Society Conference 2018 (San Diego, CA, USA), May, 2018.
2. Yatagai Y, Kanazawa J, Masuko H, Yamada H, Sakamoto T, Kitazawa H, Iijima H, Naito T, Hirota M, Tamari M, Hizawa N: How important is allergic sensitization as a cause of atopic asthma? American Thoracic Society Conference 2018 (San Diego, CA, USA), May, 2018.
3. Mochizuki F, Iijima H, Keiji F, Shimada T, Watanabe A, Shigai M, Ishikawa H, Kanazawa J, Yatagai Y, Masuko H, Sakamoto T, Oguma T, Sato S, Muro S, Hizawa N: Abnormality in flow volume loop of obstructive index reflects the extent of emphysema and disease severity in obstructive lung disease. American Thoracic Society Conference 2018 (San Diego, CA, USA), May, 2018.
4. Nakajima M, Kawaguchi M, Mastuyama M, Yoshida K, Ota K, Fujita J, Matsukura S, Huang S-K, Morishima Y, Ishii Y, Satoh H, Sakamoto T, Hizawa N: Effect of steroids and long-acting-beta agonist on IL-17F induced IL-6 and IL-8 expression. American Thoracic Society Conference 2018 (San Diego, CA, USA), May, 2018.

5. Aiba M, Tachikawa H, Watanabe T, Midorikawa H, Yoshida K, Arai T, Tamiya N: Relationship between support for the elderly and healthy life expectancy: From the national longitudinal survey. The International Conference of Global Aging Tsukuba 第33回日本国際保健医療学会東日本地方会（つくば）, July, 2018.
6. Yoshida K, Tachikawa H, Aiba M, Midorikawa H, Arai T, Tamiya N: A multi-level analysis of geographic variations in sleep disturbances and their correlates among older adults in Japan. The International Conference of Global Aging Tsukuba 第33回日本国際保健医療学会東日本地方会（つくば）, July, 2018.
7. Funayama T: GJOST Fellowship Program 2017 report. 20th Annual Meeting of German-Japanese Society for Orthopaedics and Trauma (Hiroasaki) , August, 2018.
8. Oe K, Tachikawa H, Ikeda Y, Aiba M, Arai T: Regional suicide rates and affecting factors in Japan: an ecological study by using Generalized Linear Model and Machine Learning. 17th European Symposium on Suicide and Suicidal Behaviour (ESSSB17) (Ghent, Belgium) , September, 2018.
9. Aiba M, Tachikawa H, Lebowitz A: Which is the best version of Interpersonal Needs Questionnaire and Acquired Capability for Suicide Scale? 17th European Symposium on Suicide and Suicidal Behaviour (ESSSB17) (Ghent, Belgium) , September, 2018.
10. 船山 徹, 塚西敏則, 藤井賢吾, 熊谷 洋, 伊澤成郎, 長島克弥, 三浦紘世, 俣木健太郎, 野口裕史, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: 椎体後壁損傷を伴う骨粗鬆症性椎体骨折に対する Balloon Kyphoplasty (BKP) の適応限界. 第47回日本脊椎脊髄病学会 (神戸), 4月, 2018.
11. 船山 徹, 安部哲哉, 塚西敏則, 柴尾洋介, 伊澤成郎, 熊谷 洋, 野口裕史, 三浦紘世, 長島克弥, 俣木健太郎, 國府田正雄, 山崎正志: 予後不良MRI所見を有する骨粗鬆症性椎体骨折に対する初期の入院安静による保存治療の奏効率と抵抗例の特徴. 第47回日本脊椎脊髄病学会 (神戸), 4月, 2018.
12. 金澤 潤, 増子裕典, 谷田貝洋平, 飯島弘晃, 内藤隆志, 齋藤武文, 野口恵美子, 今野 哲, 西村正治, 広田朝光, 玉利真由美, 坂本 透, 檜澤伸之: CHI3L1 遺伝子eQTLが喘息に与える影響. 第58回日本呼吸器学会学術講演会 (大阪), 4月, 2018.
13. 望月美美, 飯島弘晃, 藤原啓司, 嶋田貴文, 石川博一, 増子裕典, 坂本 透, 小熊 毅, 佐藤 晋, 室 繁郎, 檜澤伸之: CT画像解析を用いた閉塞性肺疾患における obstructive index の意義. 第58回日本呼吸器学会学術講演会 (大阪), 4月, 2018.
14. 中嶋真之, 川口未央, 太田恭子, 藤田純一, 松山政史, 松倉 聡, 塩澤利博, 中澤健介, 増子裕典, 際本拓未, 松野洋輔, 森島祐子, 佐藤浩昭, 坂本 透, 檜澤伸之: IL-17FによるIL-6, IL-8産生に対するステロイドとLABAの効果. 第58回日本呼吸器学会学術講演会 (大阪), 4月, 2018.
15. 田中 崇恵, 田附あえか, 慶野遥香, 杉江征: コミュニティモデルに基づく総合相談の実践 - A大学における多元的相談窓口の利用実態に関する経年変化の分析-. 日本学生相談学会第36回大会 (神奈川), 5月, 2018.
16. 川島 海, 田口真人, 増子裕典, 北岡有香, 重政理恵, 會田有香, 吉田和史, 塩澤利博, 松山政史, 中澤健介, 小川良子, 際本拓未, 松野洋輔, 森島祐子, 坂本 透, 家城隆次, 檜澤伸之: 全身性ス

- テロイド投与が著効した黄色爪症候群の1例. 第229回日本呼吸器学会関東地方会(東京), 5月, 2018.
17. 船山 徹, 安部哲哉, 塚西敏則, 柴尾洋介, 熊谷 洋, 伊澤成郎, 野口裕史, 三浦紘世, 長島克弥, 國府田正雄, 山崎正志: 予後不良MRI所見を有する骨粗鬆症性椎体骨折に対する初期の入院安静による保存治療の奏効率と抵抗例の画像的特徴. 第91回日本整形外科学会学術集会(神戸), 5月, 2018.
 18. 廣瀬 優, 長谷川直之, 山本祥之, 兵頭一之介, 溝上裕士: 食道扁平上皮癌根治的手術後に発生したリンパ節腫大に対してEUS-FNAを用いて神経内分泌癌(NEC)と診断した1例. 第106回日本消化器病学会関東支部例会(東京), 6月, 2018.
 19. 太刀川弘和, 池田雄太郎, 高橋 晶, 高木善史, 福生泰久, 新井哲明, 渡 路子: DPATの個別対応と決定要因に関する分析. 第114回日本精神神経学会学術総会(神戸), 6月, 2018.
 20. 高橋 晶, 太刀川弘和, 福生泰久, 高木善史, 新井哲明, 渡 路子: 過去4災害のDPAT活動の分析研究. 第114回日本精神神経学会学術総会(神戸), 6月, 2018.
 21. 田口高也, 太刀川弘和, 根本清貴, 鈴木雅之, 長野 徹, 立花隆輝, 西村雅史, 新井哲明: うつ病, 統合失調症における希死念慮と音響特徴量との関連. 第114回日本精神神経学会学術総会(神戸), 6月, 2018.
 22. 鈴木李理, 重政理恵, 塩澤利博, 森島祐子, 坂本 透, 石川 仁, 坂下信悟, 野口雅之, 檜澤伸之: 乙字湯による薬剤性肺障害と診断した1例. 第165回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会(東京), 6月, 2018.
 23. 金澤 潤, 増子裕典, 山田英恵, 谷田貝洋平, 北沢晴奈, 飯島弘晃, 内藤隆志, 広田朝光, 玉利真由美, 坂本 透, 檜澤伸之: アレルギー感作関連遺伝子が成人喘息に与える影響. 第67回日本アレルギー学会学術大会(幕張), 6月, 2018.
 24. 中嶋真之, 川口未央, 太田恭子, 藤田純一, 松山政史, 松倉 聡, 塩澤利博, 中澤健介, 増子裕典, 際本拓未, 松野洋輔, 森島祐子, 佐藤浩昭, 坂本 透, 檜澤伸之: 気道平滑筋細胞におけるIL-6, IL-8産生に対するIL17FとLABAの増強効果. 第67回日本アレルギー学会学術大会(幕張), 6月, 2018.
 25. 城山真美子, 田口真人, 際本拓未, 川島 海, 嶋田貴文, 重政理恵, 吉田和史, 塩澤利博, 松山政史, 中澤健介, 増子裕典, 小川良子, 松野洋輔, 森島祐子, 坂本 透, 家城隆次, 檜澤伸之: 画像上過敏性肺炎パターンを呈したテガフル・ウラシルによる薬剤性肺炎. 第230回日本呼吸器学会関東地方会(東京), 7月, 2018.
 26. 高屋敷明由美, 前野貴美, 高橋あすみ, 太刀川弘和: 医学部2年生における自殺予防教育プログラムCAMPUS導入の経験. 第50回日本医学教育学会大会(東京), 8月, 2018.
 27. 杉山雄太郎, 長谷川直之, 遠藤壮登, 石毛和紀, 福田邦明, 溝上裕士: 門脈圧亢進症による胆管空腸吻合部Angioectasiaからの出血に対してアルゴンプラズマ凝固療法が奏効した一例. 第25回日本門脈圧亢進症学会総会(大阪), 9月, 2018.
 28. 廣瀬 優, 長谷川直之, 石毛和紀, 福田邦明, 安部井誠人, 兵頭一之介, 溝上裕士: ダブルバルーン内視鏡(DBE)を用いたERCPが困難であった術後再建腸管の胆道結石症に対して経皮経肝胆

- 道鏡 (PTCS) が有用であった2例. 第54回日本胆道学会学術集会 (千葉), 9月, 2018.
29. 山浦正道, 福田邦明, 小松義希, 廣瀬 優, 佐藤雅志, 遠藤壮登, 長谷川直之, 石毛和紀, 石黒聡尚, 森 健作, 溝上裕士, 兵頭一之介: 仮性動脈瘤胆道穿破の2症例. 第54回日本胆道学会学術集会 (千葉), 9月, 2018.
 30. 船山 徹, 安部哲哉, 辰村正紀, 野口裕史, 藤井賢吾, 三浦紘世, 江藤文彦, 長島克弥, 熊谷 洋, 俣木健太郎, 柴尾洋介, 國府田正雄, 山崎正志: 骨粗鬆症性椎骨折後偽関節に対するXLIF corpectomyの有用性とインプラント関連合併症の検討. 第27回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 (東京), 9月, 2018.
 31. 田口真人, 中澤健介, 重政理恵, 秋山達也, 大澤 翔, 塩澤利博, 松山政史, 増子裕典, 小川良子, 際本拓未, 松野洋輔, 森島祐子, 坂本 透, 家城隆次, 檜澤伸之, 柳下瑞希, 住田孝之, 佐藤泰樹, 坂下信悟, 野口雅之: TAFRO症候群が強く疑われた前縦隔腫瘤, 両側胸水貯留の1例. 第174回日本結核病学会関東支部学会, 第231回日本呼吸器学会関東地方会合同学会 (東京), 9月, 2018.
 32. 太刀川弘和, 翠川晴彦, 渡邊多永子, 新井哲明, 田宮菜奈子: 人口動態調査に基づく自殺の死亡地域の検討. 第42回日本自殺予防学会総会 (檀原), 9月, 2018.
 33. 翠川晴彦, 太刀川弘和, 新井哲明, 田宮菜奈子: 人口動態調査に基づく自殺と外因死・不明死との関連性の検討. 第42回日本自殺予防学会総会 (檀原), 9月, 2018.
 34. 高橋あすみ, 太刀川弘和, Adam Lebowitz, 新井哲明: 項目反応理論による日本版Literacy of Suicide Scaleの作成. 第42回日本自殺予防学会総会 (檀原), 9月, 2018.
 35. 高橋あすみ, 太刀川弘和, 石井 映美, 白鳥 裕貴, 新井 哲明: 大学生を対象にした自殺予防のためのメンタルヘルス・リテラシー教育: eラーニング教材の開発. 第56回全国保健管理研究集会 (東京), 10月, 2018.
 36. 石井映美, 太刀川弘和, 白鳥裕貴, 佐々木恵美, 新井哲明: 発達障害学生における自殺関連事象について一他疾患と比較した検討一. 第56回全国大学保健管理研究集会 (東京), 10月, 2018.
 37. 佐々木恵美, 吉田富貴子, 太刀川弘和, 平山 暁: 健康診断時のこころの状態スクリーニング6年間の傾向. 第56回全国保健管理研究集会 (東京), 10月, 2018.
 38. 松倉しほり, 重政理恵, 増子裕典, 田口真人, 秋山達也, 大澤 翔, 塩澤利博, 松山政史, 中澤健介, 小川良子, 際本拓未, 松野洋輔, 森島祐子, 坂本 透, 家城隆次, 佐藤泰樹, 野口雅之, 檜澤伸之: 飼育しているインコにより鳥関連過敏性肺炎を発症した1例. 第40回茨城医学界内科分科会 (水戸), 10月, 2018.
 39. 船山 徹, 野口裕史, 熊谷 洋, 牧原武史, 井汲 彰, 伊澤成郎, 岩指 仁, 野澤大輔, 吉岡友和, 國府田正雄, 山崎正志: 配向連通 β -リン酸三カルシウム人工骨の開発と骨再生材料としての有用性. 第33回日本整形外科学会基礎学術集会 (奈良), 10月, 2018.
 40. 船山 徹, 塚西敏則, 安部哲哉, 柴尾洋介, 伊澤成郎, 熊谷 洋, 野口裕史, 三浦紘世, 國府田正雄, 山崎正志: 予後不良MRI所見を有する骨粗鬆症性椎体骨折に対する初期の入院安静による保存治療の有効性と保存治療抵抗例の特徴. 第20回日本骨粗鬆症学会 (長崎), 10月, 2018.
 41. 黒木嗣子, 大島央之, 森島祐子, 秋山達也, 田口真人, 重政理恵, 松山政史, 塩澤利博, 中澤健介, 増子裕典, 小川良子, 際本拓未, 松野洋輔, 坂本 透, 家城隆次, 檜澤伸之: 出産後に発症した好

酸球性肺炎の1例. 第232回日本呼吸器学会関東地方会(東京), 11月, 2018.

42. 渡辺理沙, 太刀川弘和, 翠川晴彦, 白鳥裕貴, 山田典子, 妹尾栄一, 新井哲明, 堀 孝文: 自殺に関する感情・行動・認知スケール(SABCS)の検討. 第67回茨城精神医学集団会(水戸), 11月, 2018.
43. 諫山瑞紀, 丹下善隆, 遠藤壮登, 萩原悠也, 永渕美帆, 杉山雄太郎, 山浦正道, 水井恒夫, 小松義希, 長谷川直之, 石毛和紀, 福田邦明, 兵頭一之介, 溝上裕士: 重症肺炎後の仮性肺嚢胞感染に対する内視鏡的ネクロセクトミー中に門脈気腫を来した1例. 第107回日本消化器病学会関東支部例会(東京), 12月, 2018.
44. 田附あえか: 児童養護施設における心理的支援および家族支援に関する文献研究: 海外の入所施設における研究から. 日本子ども虐待防止学会第24回学術集会おかやま大会(岡山), 12月, 2018.
45. 太刀川弘和, 安宅勝弘, 石井映美, 衛藤暢明, 岡本百合, 小田原俊成, 河西千秋, 梶谷康介, 川島義高, 白鳥裕貴, 菅原大地, 高橋あすみ, 布施泰子, 堀 正士, 丸谷俊之, 松原敏郎, 三井信幸, 渡辺慶一郎: 研究班報告: 大学生の自殺予防プログラムの開発に関する予備的検討. 第40回全国大学メンタルヘルス学会総会(岡山), 12月, 2018.
46. 高木善史, 太刀川弘和, 高橋 晶, 福生泰久, 新井哲明, 渡 路子: DPAT活動における継続支援事例の特性-4災害のDMHISSデータから-. 第38回日本社会精神医学会(東京), 2月, 2019.
47. 久保こすみ, 小川良子, 重政理恵, 秋山達也, 大島央之, 矢崎 海, 塩澤利博, 松山政史, 中澤健介, 増子裕典, 際本拓未, 松野洋輔, 森島祐子, 坂本 透, 家城隆次, 檜澤伸之, 越智寛幸, 佐藤豊実: 子宮内膜整形で診断した子宮結核の1例. 第233回日本呼吸器学会関東地方会, 第175回日本結核病学会関東支部学会 合同学会(東京), 2月, 2019.
48. 木村真緒, 秋山達也, 松山政史, 重政理恵, 大島央之, 矢崎 海, 塩澤利博, 中澤健介, 増子裕典, 小川良子, 際本拓未, 松野洋輔, 森島祐子, 坂本 透, 家城隆次, 檜澤伸之: 防風通聖散による薬剤性肺障害が疑われた一例. 第215回茨城県内科学会(水戸), 3月, 2019.
49. 兵頭健太郎, 増子裕典, 金澤 潤, 飯島弘晃, 児玉孝秀, 野村明広, 佐藤浩昭, 坂本 透, 齋藤武文, 檜澤伸之: 慢性炎症性肺疾患における増悪関連フェノタイプの検討. 第1回日本アレルギー学会関東地方会(東京), 3月, 2019.
50. Keisuke Kuga, Masaki Ieda, Japanese National University Council of Health Administration Facilities: シンポジウム23 学校心臓検診の問題点と課題・金沢宣言も踏まえて「Problem of Heart Disease Screening in University」. 第83回日本循環器学会学術集会(横浜), 3月, 2019.

<講演>

1. 太刀川 弘和: 病院の自殺予防研修会. 平成30年度筑波大学附属病院精神科研修会(第1回行動制限最小化委員会研修会)(つくば), 5月, 2018.
2. 太刀川 弘和: 地域における自殺対策の作り方. 平成30年度第1回自殺対策計画策定支援研修会(水戸), 5月, 2018.
3. 太刀川弘和, 高橋 晶, 新井哲明: 常総市水害こころのケア活動報告. 常総市長活動報告会(水

戸), 6月, 2018.

4. 坂本 透: COPDの診断と治療－最近のトピックスと問題点－. 呼吸器疾患懇話会 in 野田 (野田), 6月, 2018.
5. 坂本 透: Campus health, medical and counseling services. Health Management Seminar For International Students, Researchers and Their Families (つくば), 7月, 2018.
6. 太刀川弘和: 若者の自殺の予防と対策. 平成30年度ゲートキーパー指導者研修会 (水戸), 8月, 2018.
7. 太刀川弘和: 大学における自殺対策について～自殺対策を大学コミュニティの改善に活かす～. 愛知県平成30年度第1回大学生向け自殺予防啓発事業研修会 (名古屋), 8月, 2018.
8. 太刀川弘和: 大学生の自殺予防－つながりの観点から－. 平成30年度群馬県内大学等メンタルヘルス研究会 (前橋), 9月, 2018.
9. 大塚耕太郎, 太刀川弘和, 河西千秋, 小高真美, 張 賢徳: 自殺予防ゲートキーパー研修会の作り方. 第42回日本自殺予防学会総会学会認定研修会 (橿原), 9月, 2018.
10. 太刀川弘和: 薬剤師のメンタルヘルスについて. 第40回日本病院薬剤師会実務研修会 (東京), 9月, 2018.
11. 太刀川弘和: 自殺予防の基礎知識. 常総市自殺対策管理職研修 (常総), 10月, 2018.
12. 太刀川弘和: 精神科診断のためのインターネットの活用リスク・ベネフィット シンポジウム「精神科診断のためのヘルスリテラシーの活用」. 第38回日本精神科診断学会 (川越), 10月, 2018.
13. 白鳥裕貴: メンタルヘルスがなぜ大事か. 国土地理院メンタルヘルス講習会 (つくば), 10月, 2018.
14. 太刀川弘和: 統合失調症と自殺について. 第2回横浜メンタルヘルスフォーラム (横浜), 11月, 2018.
15. 船山 徹: 腰椎後方除圧および椎弓根スクリュー刺入の基本手技. 第13回千葉・筑波脊椎手術手技講習会 (幕張), 11月, 2018.
16. 船山 徹: 配向連通孔構造を有する人工骨の臨床応用－脊椎疾患を中心に－. 第38回整形外科バイオマテリアル研究会 (つくば), 12月, 2018.
17. 白鳥裕貴: 自殺ハイリスク者に対する理解と支援－事例を通じて－. 平成30年度常陸太田市ゲートキーパー実務者研修会 (常陸太田), 2月, 2019.
18. 白鳥裕貴: 発達障害に合併する精神疾患について. 平成30年度茨城県発達障害かかりつけ医等対応力向上研修会 (つくば), 3月, 2019.
19. 石井映美, 太刀川弘和: 大学生の自殺予防の現状と課題. 第21回フィジカルヘルスフォーラム (山形), 3月, 2019.

＜受賞＞

1. 高橋あすみ, 太刀川弘和, 石井映美, 白鳥裕貴, 新井哲明: 大学生を対象にした自殺予防のためのメンタルヘルス・リテラシー教育: eラーニング教材の開発. 第55回全国保健管理研究集会

優秀発表賞（東京），10月，2018.

2. 船山 徹：日本骨粗鬆症学会 2018年度研究奨励賞

<その他>

1. 坂本 透：保健管理センターだより「保健管理センターのご利用案内」. STUDENTS つくばスチューデント 687(1): 10, 2018.
2. 太刀川弘和：第41回日本自殺予防学会総会を終えて：自殺予防のこれまで・これから. 心と社会 49 (1) : 52-59, 2018.
3. 太刀川弘和, 相羽誠聡：東日本大震災の被災者・避難者のこころのケアニーズ啓発事業講演会 DVD「あれから7年こころの健康を守るために～福島から避難された皆様のための集い」. 茨城県平成29年度茨城県自殺対策モデル事業, 3月, 2018.
4. 太刀川弘和：深読みチャンネル 夏休み明け「自殺したい」子どもを守るには？ YOMIURI ONLINE：2018年8月27日, 2018.

令和2年3月

編集・発行 筑波大学保健管理センター

〒305-8577

茨城県つくば市天王台1-1-1

電話 (029) 853-2401

FAX (029) 853-2402
